■保証について

〈保証内容のご確認とお願い〉

●この保証書は、記載内容（無料修理規定）に基づいて、無料修理を行うことをお約束するものです。本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の有償修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。

●無料修理を受けられる場合は、「ご購入明細書」が必要になります。
お買い上げ日と販売店を、「ご購入明細書」にてご確認いただき、大切に保管してください。
※「ご購入明細書」とは、製品の納品時にお客様にお渡しする「納品書兼出荷案内書」・「販売店が発行する納品書（製品明細の記載があるもの）」のことです。

〈保証期間について〉

●保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠し、電気部品を除いて、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変色・退色、レザー・クロスの摩耗。
2年	機構部・可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構などの故障。
3年	構造体	強度・構造体にかかわる破損。

※使用頻度としましては、週40時間（週5日として1日8時間）の労働時間を想定しています。
24時間体制の執務、年中無休での業務や、これに準ずる過酷なご使用をされるところ(消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等)での使用頻度を前提とした保証期間ではありません。ご理解の程お願い致します。

●電気部品に関しましては、下記の年限とさせていただきます。

1年	電気部品	照明器具、スイッチ、ACアダプタ、コンセント、モーターなど。

お試し用の電池は、保証対象外です。

〈無料修理規定〉

1.保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で当社の責任と認められる不具合・故障が発生した場合は、無料修理をさせていただきます。
その際、張り地などの部材交換が必要な場合に本製品と同等の機能部材を使用する場合があります。
また、弊社の判断により製品全体を交換させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
2.お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室へご相談ください。
3.保証期間が過ぎた後や保証が適用されない故障につきましては、有料で修理させていただきます。
4.保証期間内でも以下の場合は有料となりますのでご了承願います。
(イ)ご購入明細書のご提示が無い場合
(ロ)ご購入明細書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合
(ハ)消耗部品（弊社指定部品）の交換
(ニ)第三者から転売・譲渡を受けた場合
(ホ)火災・水害・塩害・ガス害や地震などの天災地変による故障または破損
(ヘ)使用上の誤りによる故障または破損
(ト)カタログ、取扱説明書に記載の禁止事項もしくはそれに類する操作またはご使用者の故意もしくは重大な過失による故障または破損
(チ)加工・改造・不当な修理による故障または破損
(リ)設置後の落下、衝突や移動によって生じた故障または破損
(ヌ)接続している他の機器に起因した故障または破損
(ル)異常な環境下(高温・多湿・著しい温度変化等)での使用もしくは保管による故障または破損
(ヲ)強い磁気の影響や特殊工具の使用による故障または損傷
(ワ)屋外・温浴施設・プールなどで使用された場合の故障または破損
(カ)経時変化により発生する不具合または塗装面の自然退色
(ヨ)使用時の手垢・埃等の汚れによる仕上げ表面の変化
(タ)使用上の消耗により発生する異音などの現象、変質またはさび・かびの発生
(レ)外観の傷・へこみ・変形や再現のできない不良
(ソ)一般的に品質や機能上、影響のない感応的現象（におい、音鳴りや振動など）
(ツ)日本国外で使用された場合に生じた故障または破損
5.ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。
6.本書およびご購入明細書は日本国内においてのみ有効です。
7.ご購入明細書は再発行致しませんので、大切に保管してください。

コクヨ株式会社
本社オフィス　〒537-8686　大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
ホームページURL　https://www.kokuyo.co.jp/

お問い合わせ、ご相談は
お客様相談室
kokuyo.jp/soudan/

2402020452DKH

KOKUYO

取扱説明書

STANDSIT-W

スタンジット-W

電動昇降デスク　DSW-TK□□□□SA1

このたびはコクヨ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

※諸般の事情により、予告なく仕様が変わることがあります。
あらかじめご了承ください。

もくじ

1.安全上のご注意…… 1
2.末永くご使用いただくためのご注意… 4
3.各部のなまえとはたらき…… 5
4.使いかた…… 6
5.お手入れのしかた…… 20
6.故障かな?と思ったら（不調診断）…… 21
7.部品の交換について …… 23
8.仕様…… 24
9.組み立てかた…… 25
10.組立後の作動確認 …… 47
11.レイアウト時の注意事項 …… 48

1.安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

⚠警告　取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意　取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

⚠警告

●**コンセントがある場合、コンセントに接続する機器は、定格消費電力合計が最大消費電力以内で使用してください。**
これを超えると、異常発熱して火災の原因になるおそれがあります。

●**交流100V以外の電源電圧で使用しないでください。（海外での使用や変圧器を用いた使用はできません。）**
火災や感電・故障の原因になります。

●**配線作業は、必ず昇降停止状態で行ってください。**
けがをするおそれがあります。

●**タコ足配線は絶対にしないでください。**
ショート・火災の原因になります。

●**デスクやテーブルの配線コードや電源コードは、必ず付属のコードをご使用ください。**
ショート･火災･感電のおそれがあります。

●**電源コードは傷つけないように注意してください。また、コードが傷ついたときは、絶対に使用しないでください。**
ショート･火災･感電のおそれがあります。

●**延長コードや機器のコード類は、最大高さでの使用を想定して、十分な長さのものをご使用ください。**
断線や機器の転倒・落下により、ショート・感電・けが・破損のおそれがあります。

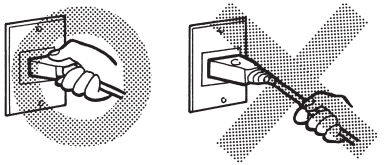
●**延長コードや機器のコード類を配線するときは、天板の昇降時に絡まったり、引っ掛かったりしないように注意してください。**
断線や機器の転倒・落下により、ショート・感電・けが・破損のおそれがあります。

●**製品を廃棄するときは、焼却しないでください。**
有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。
製品を廃棄するときは、専門業者に依頼するか、お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

●コンセント、電源プラグ、コードがある場合は、以下の内容を守らないと、感電やショート・火災の原因になります。

- **温度・湿度の高い場所では使用しないでください。**
- **ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。**
- **電源プラグは、刃の根元までしっかり差し込んでください。**
- **電源プラグに、ホコリが付いた状態で使用しないでください。**
- **コンセントの差し込み口に、異物やゴミが入らないようにしてください。**
- **電源プラグは、必ずプラグを持って抜いてください。**



- **暖房器具など火気を近づけたり、熱風を当てないでください。**
- **コンセントや配線に水がかからないように注意してください。**
- **コンセントや配線に洗剤や殺虫剤をかけないでください。**
- **コードを止め金などで固定して使用しないでください。**
- **コードをたばねて使用しないでください。**
- **コードの上に重いものをのせたり、はさみ込んだりしないでください。**
- **コードを敷物の下にして使用しないでください。**
- **コードを無理に引っ張ったり、曲げたり、ねじらないでください。**
- **コードが傷ついたままで使用しないでください。**
- **コンセントが破損したり、外れかけた状態で使用しないでください。**
- **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **コンセント部やプラグ部などの分解や改造をしないでください。**
- **コードをワゴンなどで踏み付けないでください。**

●健康に影響をおよぼすことが考えられますので、以下の内容を守って使用してください。

- **この製品を購入された当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行ってご使用ください。**
- **この製品をご使用になる室内が著しく高温多湿（温度28℃、相対湿度50%超が目安）になる場合は、窓を閉め切らないようにするか、強制的に換気を行ってください。**

●**運動具や乗物がわりに使ったり、ゲームなどの遊びに使用しないでください。（特にお子様にご注意ください。）**
転倒や破損により、けがをする原因になります。

●**使用していないボルト穴や取付穴に指を入れないでください。（特にお子様にご注意ください。）**
けがをする原因になります。

●**製品の上に立ち上がったり、腰を掛けたりしないでください。また、もたれかかったり、ぶら下がったりしないでください。（特にお子様にご注意ください。）**
転倒や転落により、けがをする原因になります。

●**天板の端に体重を掛けたり、重いものをのせたりしないでください。**
転倒や破損によるけがの原因になります。

●**床に傾斜や段差のある、不安定な場所では使用しないでください。**
転倒によるけがの原因になります。

●**製品と収納物の重量に耐えられない場所には、設置しないでください。**
転倒によるけが・破損の原因になります。

●**製品を設置する際は、本体の水平を保つようにアジャスターで調節してください。**
傾斜した状態で設置すると、天板上のものがすべり落ちたり、本体が倒れてきて、けがをするおそれがあります。

●**可動部のすきまに手や指を入れないでください。**
けがの原因になります。

●**のせるものが、天板からはみ出さないようにしてください。**
ものが落下して、けがをするおそれがあります。

●**可動部に注油しないでください。**
油がたれて床や衣類を汚す原因になります。

●**移動させるときは、のせているものをすべて取り除いてから行ってください。**
のせているものが落下して、けがをするおそれがあります。

●**移設するときは、天板を最低位置に下げ、必ず2人以上で天板を持ち、持ち上げて行ってください。**
引きずりますと、床を傷つけたり、製品の破損のおそれがあります。

●**移設するときは、壁や隣り合うものとの間に25㎜以上の間隔が確保されていることを確認してください。**

●**持ち上げた製品を置くときは、製品と床が平行になるようにして、ゆっくり下ろしてください。**
斜めの状態で下ろしますと、床を傷つけたり、製品の破損のおそれがあります。

●**製品の分解や改造はしないでください。**
けがや故障の原因になります。

●**ストーブなど火気を近づけて使用しないでください。**
やけどや火災の原因になります。

●**乱暴な取り扱いや用途以外の使用はしないでください。**
けがや故障・破損の原因になります。

●**ボルトやネジがゆるんだままで使用しないでください。**
本体の変形・破損や転倒により、けがをする原因になります。早めに締め直してください。

●**溶接外れやリベットのゆるみ、アジャスターやキャップ類の欠落など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。**
そのまま使用していますと、製品の破損により、けがをするおそれがあります。

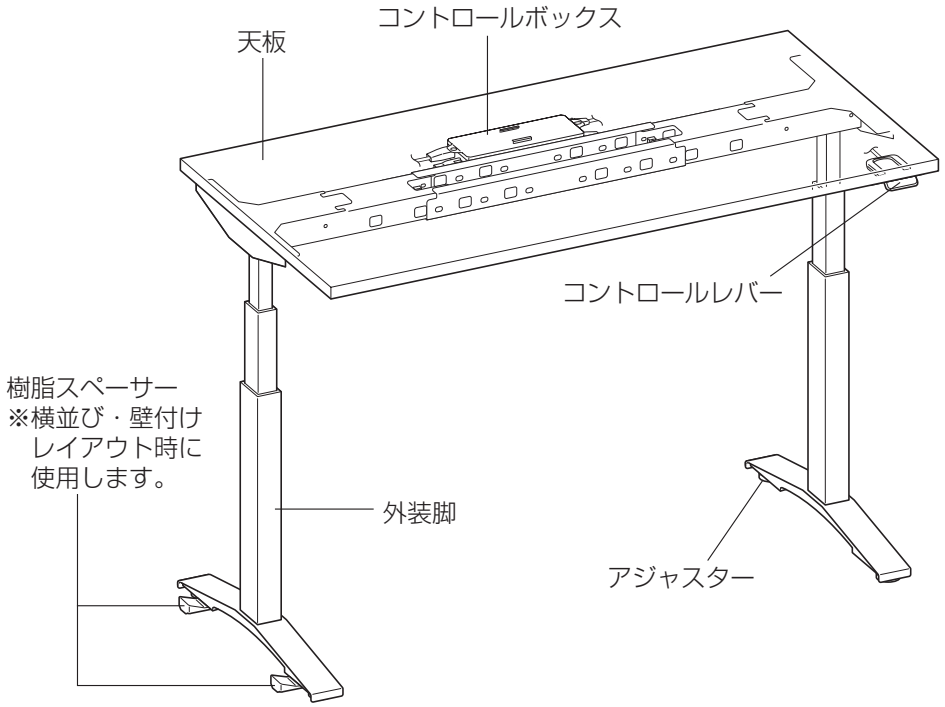
●**製品に貼ってあるラベルは、絶対にはがさないでください。**
誤った使いかたや事故を防止するためのものです。ラベルがなくなったり、はがれたときは、当社から取り寄せ、正しい位置に貼ってからご使用ください。

●**この製品を他の人が使用するときは、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。**

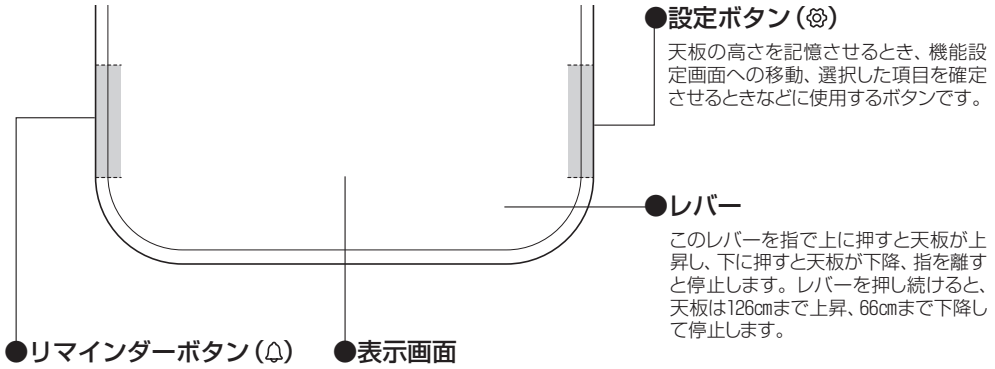
2.末永くご使用いただくためのご注意

- この製品は室内または屋内用です。
  屋外での使用や水ぬれは、故障やさび・反り・変色・カビの発生の原因になります。
- 直射日光やストーブなどの熱、エアコンの風が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。
  変色や変形・そりなどのおそれがあります。
- 天板に飲み物をこぼしたままにしたり、ぬれ雑巾などをそのまま放置しないでください。
  表面材の変色やはがれ、ひび割れ、そりなどの原因になります。必ず水分が残らないように拭き取ってください。
- 天板の上に、熱い湯のみや加熱したなべ・やかんなどを直接置かないでください。
  白く変色するおそれがあります。茶たくやなべ敷きを敷いて使用してください。
- 天板の上に、金属や陶器などの硬いものを直接置かないでください。
  表面を傷つける原因になります。
- 使用開始後、のせたものの重量や床の状態により、本体にゆがみが出てくることがあります。そのときは再度、本体の水平をアジャスターで調整してください。
- ときどき、ボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。

3.各部のなまえとはたらき



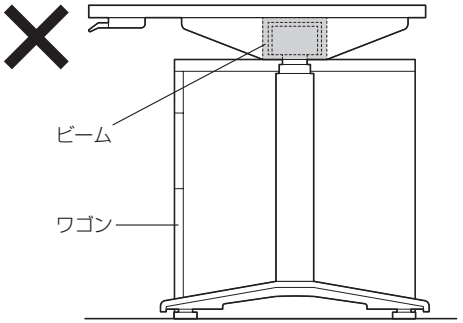
〈コントロールレバー部〉



4.使いかた

⚠警告

- **異音や異臭・煙が出るなどの異常が発生したときは、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。**
  異常状態のまま使用していますと、ショートや感電・火災・故障のおそれがあります。
- **脚（モーター部）やコントロールボックス、コントロールレバーに水や異物が入ったときは、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。**
  そのまま使用していますと、ショートや感電・火災・故障のおそれがあります。
- **操作が理解できないと思われる人や、幼児や子供がコントロールレバーに触れる可能性がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、操作できないようにしてください。**
  誤操作による事故の原因になります。
- **屋外や水のかかる場所では使用しないでください。**
  ショート・火災・感電・漏電の原因になります。
- **コントロールレバーやコントロールボックス、脚（モーター部）に強い衝撃を加えないでください。**
  誤作動によるけがや故障・破損の原因になります。
- **壁面に取り付けられた棚や掲示物が、昇降する天板やオプション類に当たらないか確認してください。**
  破損や落下により、けがをするおそれがあります。
- **天板の下にワゴンなどを収納するときは、ビームに接触しないように注意して収納してください。**



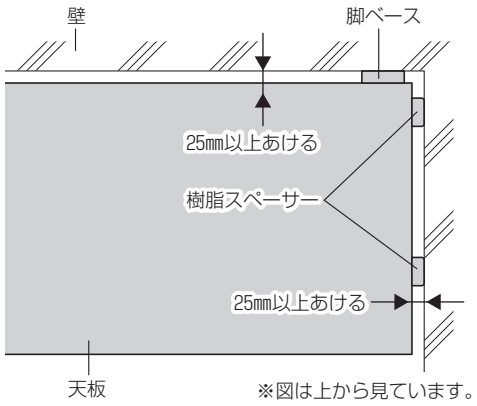
ワゴンがビームに当たって、けがや破損のおそれがあります。

⚠注意

- **ビームの穴に指を入れないでください。（特にお子様にご注意ください。）**
  けがの原因になります。
- **使用していないボルト穴や取付穴に指を入れないでください。（特にお子様にご注意ください。）**
  けがをする原因になります。
- **天板の端に体重をかけたり、重いものをのせたりしないでください。**
  転倒や転落によるけがや、ものの破損の原因になります。
- **脚ベースの上に立ったり、強い衝撃を加えないでください。**
  転倒や転落によるけがや、ものの破損の原因になります。
- **脚の昇降摺動面は、滑りをよくするために潤滑油が塗られた部分がありますので、接触しないようにご注意ください。**
  手や衣類を汚すおそれがあります。
- **コントロールレバーに強い力や衝撃を加えないでください。**
  けがや破損の原因になります。
- **移設するときは、オプションやのせているものを、すべて取り除いてから行ってください。**
  のせているものが落下して、けがをするおそれがあります。
- **製品を移設するときは、必ず電源プラグを外し、コード類を引っ掛けたり傷つけたりしないように注意して行ってください。**
  移設中の不意の作動や、コードの断線によるショート、感電のおそれがあります。
- **移設するときは、天板を最低位置に下げ、必ず2人以上で天板を持ち、持ち上げて行ってください。**
  引きずりますと、床を傷つけたり、製品の破損のおそれがあります。
- **移設するときは、壁や隣り合うものとの間に25㎜以上の間隔が確保されていることを確認してください。**

1 設置位置について

テーブルを設置するときは、天板が壁面や隣り合うものから25㎜以上離してください。

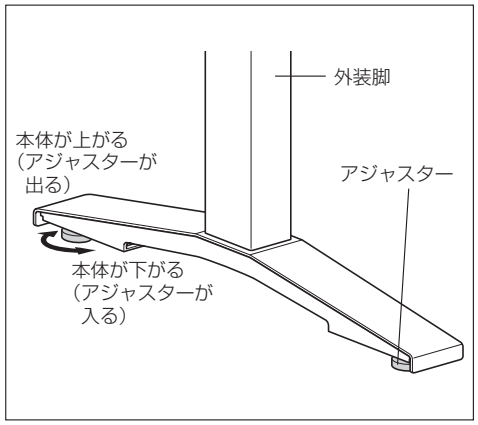


⚠注意

天板が、壁や隣り合うものとの間に、間隔を25㎜以上空けて設置してください。
昇降時に指やものをはさむおそれがあります。

2 レベル調整のしかた

テーブルを設置した際にガタツキのある場合は、外装脚のアジャスターを調節して、レベル調整してください。



⚠注意

- **アジャスターの調節は、必ず2人以上で行い、テーブルをしっかり支えてください。**
  手や足をはさみ、けがをするおそれがあります。
- **本体を持ち上げてアジャスターを調節するときは、転倒しないように注意してください。また、持ち上げた本体を下ろすときも、手や足をはさまないように注意してください。**
  けがをするおそれがあります。

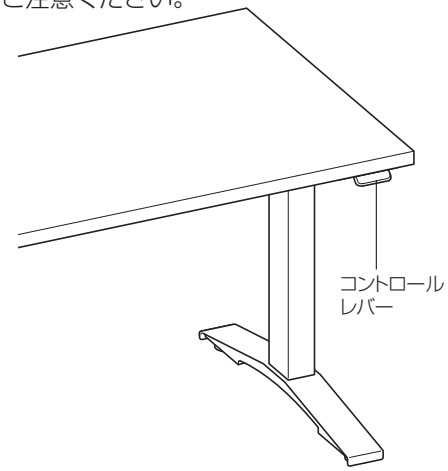
3 天板の昇降操作のしかた

⚠警告

- **昇降の連続操作は、1分以内にしてください。また、1分間連続操作をしたときは、必ず10分以上操作をしないでください。**
  モーターに負荷がかかり、ショート・火災・故障・破損のおそれがあります。
- **昇降操作をするときは、必ずイスから立ち上がってください。**
  イスに座ったままで操作しますと、足をはさまれて、けがをするおそれがあります。
- **テーブルに人が寄り掛かったり、手や肘をついたりした状態では、昇降操作をしないでください。**
  転倒やはさまれたりして、けがをする原因になります。
- **昇降操作中は、人が近寄らないように注意してください。**
  けがをするおそれがあります。
- **昇降操作をするときは、天板の下に人やものが無いことを確認してから行ってください。（イスの背や肘、ワゴンなどにご注意ください。）**
  けが・破損・故障のおそれがあります。
- **昇降中の天板の下にもぐり込んだり、頭・腕・足・手を入れたりしないでください。（特に、お子様にご注意ください。）**
  天板に当たったり、はさまれたりして、けがをする原因になります。
- **昇降中の脚など、可動部には絶対に手を触れないでください。**
  けがをする原因になります。
- **昇降操作中に、万一イスやワゴン・棚などに当たったときは、直ちに操作を中止し、天板を戻してください。**
  転倒や破損により、けがをするおそれがあります。
- **昇降操作をするときは、天板上面に偏ってものを設置したり、置かないようにしてください。**
  故障や破損によるけがの原因になります。

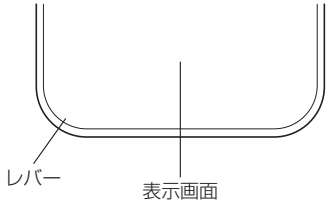
- コントロールレバーを操作することによって、天板の高さ調節が行えます。
- 昇降中に天板やデスクトップパネルが障害物に接触するとはさみ込み防止機能が働き、操作中でも天板は自動的に止まり、約5cm戻ります。

〈ご注意〉
コントロールレバーを小刻みに操作した場合は、はさみ込み防止機能が働きませんのでご注意ください。



低消費電力モード

本製品は10秒間レバー操作をしないと低消費電力モードに入り、レバーの表示画面が消灯します。いずれかのボタンを押すと再点灯し、その後レバー操作が可能となります。

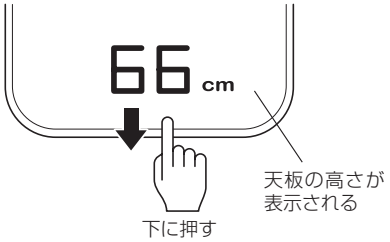


天板の上げかた

レバーを指で上に押し続けると天板が上昇し、天板の高さが表示画面に表示されます。レバーから指を離すと天板は止まります。
※天板は126cm（初期設定の場合）まで上昇させることができます。

天板の下げかた

レバーを指で下に押し続けると天板が下降し、天板の高さが表示画面に表示されます。レバーから指を離すと天板は止まります。
※天板は66cm（初期設定の場合）まで下降させることができます。

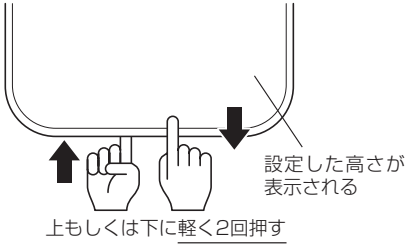


メモリー設定した高さへの天板の上げ・下げのしかた

91cm以上の高さに設定した場合
レバーを上に軽く2回押すとあらかじめ設定された高さに昇降して停止します。

90cm以下の高さに設定した場合
レバーを下に軽く2回押すとあらかじめ設定された高さに昇降して停止します。

〈ご注意〉
この操作をするためには、⑪ページの「4メモリー設定のしかた」の設定が必要です。

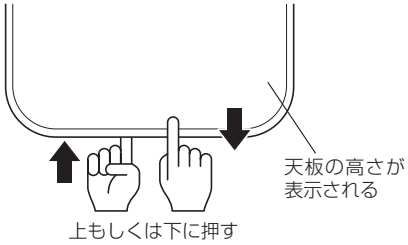


4 メモリー設定のしかた

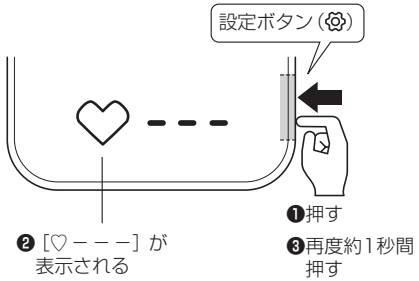
コントロールレバー右側面の設定ボタン(⚙)で、用途に合わせて天板の高さを90cm以下で1カ所、91cm以上で1カ所、計2カ所記憶させることができます。

1.レバーを上もしくは下に押して、記憶させたい高さに天板を合せてください。

※天板の高さは、表示画面で確認してください。



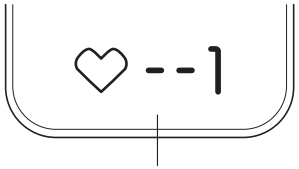
2.設定ボタン(⚙)を1回押し、[♡－－－]と表示されたら、再度、設定ボタン(⚙)を約1秒間押します。



3.表示画置に[♡－－1](91cm以上の場合)、もしくは[♡－－2](90cm以下の場合)と表示されます。

※表示画面が上記の表示にならなかった場合は、「**2**」の工程から再度行ってください。

4.その後、表示画面に[♡(設定したい高さ)]が表示されたら記憶完了です。



5 リマインダー機能の使いかた

座り時間の経過をお知らせするリマインダー機能を設定できます。

リマインダー機能

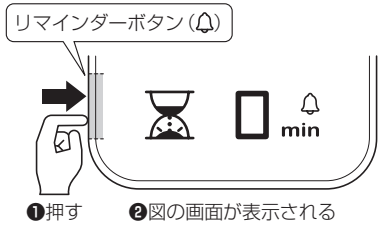
座り時間が設定した時間を超過すると、コントロールレバーが振動し、立つ時間であることをお知らせします。
約25秒経過するか、いずれかの操作ボタンを押すことで振動は止まります。

設定のしかた

コントロールレバー左側面のリマインダーボタン(🔔)を押すと図のような画面表示になり、カウントが開始されます。

※天板を100cm以上の高さに上昇させると、カウントは0分に戻ります。その後、100cm以下の高さに下降させると、再び0分からカウントが開始されます。

※リマインダー機能を使用しない場合は、再度リマインダーボタン(🔔)を押してください。



リマインダー時間の変更

リマインダー時間はデフォルトで30分に設定されていますが、30分、40分、50分のいずれかの時間に変更することができます。
変更のしかたは、⑬ページの「1.リマインダー時間の変更のしかた」を参照して任意の時間を設定してください。

リマインダー時の振動パターンの変更

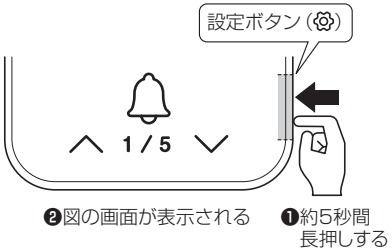
リマインダー時の振動パターンは、2種あります。また、振動はオフの状態に設定することもできます。
変更のしかたは、⑯ページの「4.リマインダー時の振動パターンの変更のしかた」を参照して任意のパターンを設定してください。

6 各種機能設定のしかた

リマインダー機能や天板の昇降操作などに関するさまざまな設定が行えます。

機能設定画面の表示のしかた

1.コントロールレバー右側面の設定ボタン(⚙)を、図のような画面が表示されるまで約5秒間長押ししてください。



2.レバーを上もしくは下に押して、右図を参考に設定したい項目を選択し、設定ボタン(⚙)を押してください。

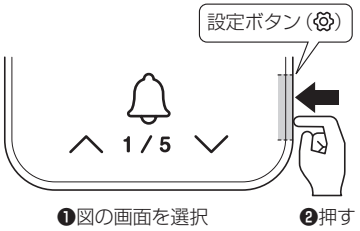
※画面は約5秒間操作を行わないと、自動的に前の画面に戻ります。

機能設定一覧

設定項目	表示画面のマーク
リマインダー時間の変更	🔔
天板の最高高さ、最低高さの設定	⇈⇊
昇降操作のロック	🔒
リマインダー時の振動パターンの変更	

1.リマインダー時間の変更のしかた

1.機能設定画面で右図の画面を選択し、設定ボタン(⚙)を押してください。



2.レバーを上もしくは下に押して、右図を参考に任意の時間を選択してください。

3.設定ボタン(⚙)を押してください。

リマインダーの時間間隔

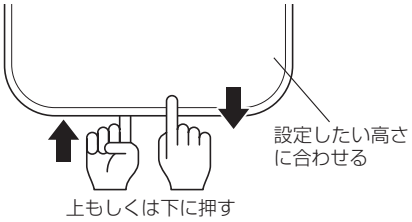
座り時間	表示画面のマーク
30分	🔔 30 min
40分	🔔 40 min
50分	🔔 50 min

2.天板の最高高さ、最低高さの設定のしかた

初期設定の天板の最高高さは126㎝、最低高さは66㎝になっていますが、126㎝～66㎝の範囲で最高高さと最低高さを、任意の高さに変更することができます。

〈設定のしかた〉

1.レバーを上もしくは下に押し、設定したい高さに合わせます。



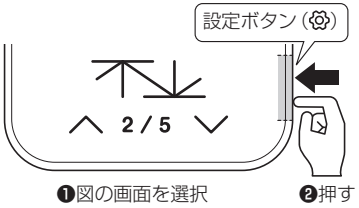
2.機能設定画面で右図の画面を選択し、設定ボタン(⚙)を押してください。

3.レバーを上もしくは下に押して最高高さに設定したい場合は[⇈ MAX]を、最低高さに設定したい場合は[⇊ MIN]を選択してください。

4.設定ボタン(⚙)を押してください。

〈初期設定への戻しかた〉

1.機能設定画面で右図の画面を選択し、設定ボタン(⚙)を押してください。



2.レバーを下に押して[⇈⇊ OFF]を選択してください。

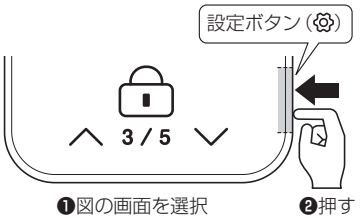
3.設定ボタン(⚙)を押してください。

3.昇降操作のロックのしかた

レバーによる天板の昇降操作を停止させることができます。

〈ロックをかける場合〉

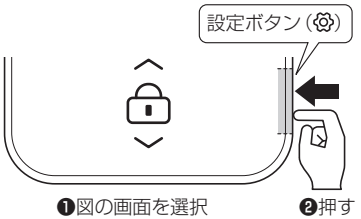
1.機能設定画面で右図の画面を選択し、設定ボタン（⚙）を押してください。



2.レバーを上もしくは下に押して［🔒］を選択してください。

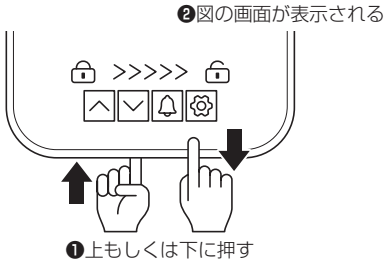
3.設定ボタン（⚙）を押してください。

※ロック直後は一時的に昇降操作が可能ですが、約10秒間操作を行わないと完全にロックがかかります。



〈ロックを一時解除する場合〉

1.昇降操作がロックされた状態で、レバーを上もしくは下に押すと、右図のような画面が表示されます。

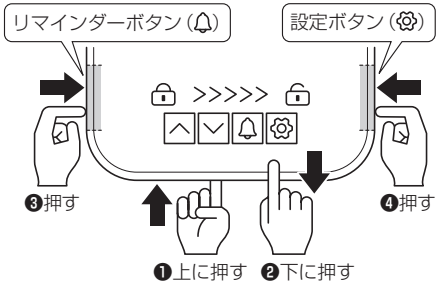


2.上記の画面が表示された状態で、

❶レバーを上に押す
❷レバーを下に押す
❸リマインダーボタン（🔔）
❹設定ボタン（⚙）

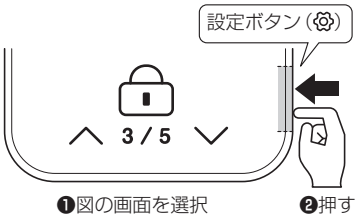
の順でボタンを押すと、ロックが一時的に解除され、昇降操作ができるようになります。

※約10秒間操作を行わないと自動的にロックがかかります。



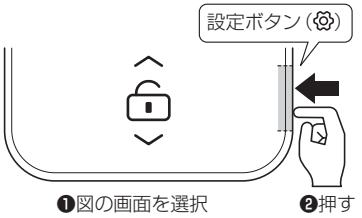
〈ロックを解除する場合〉

1.機能設定画面で右図の画面を選択し、設定ボタン（⚙）を押してください。



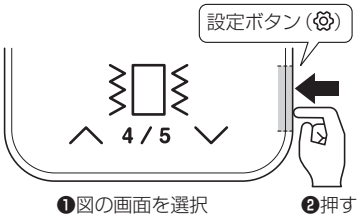
2.レバーを上もしくは下に押して［🔓］を選択してください。

3.設定ボタン（⚙）を押してください。



4.リマインダー時の振動パターンの変更のしかた

1.機能設定画面で右図の画面を選択し、設定ボタン（⚙）を押してください。



2.レバーを上もしくは下に押して、右図を参考に任意の振動パターンを選択してください。

3.設定ボタン（⚙）を押してください。

選択できる振動パターン

振動の状態	表示画面のマーク
短い振動が3回起こった後、大きな振動	
一定の振動が続く	
振動なし	OFF

7 コントロールボックスの初期化（INITIALISE）のしかた

〈天板の高さの数値の初期化〉

表示画面の数値と実際の天板の高さにズレが発生したときは、下記の要領でコントロールボックスの初期化をしてください。

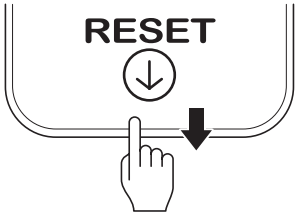
1.天板の下に、イスやワゴンなど下降時に接触するおそれがあるものがあれば、取り除いてください。

2.レバーを下に押し続けて天板を最低高さまで下げ、一度レバーから手を離し、さらにレバーを下に約15秒間長押ししてください。表示画面に「RESET」が表示されます。

3.レバーから手を離し、もう一度レバーを下に押し続けると、約5㎜下がって戻り初期化されます。

操作は以上です。

❹「RESET」が表示される



❶天板を最低高さまで下げる
❷レバーから手を離す
❸下に約15秒間長押しする

❺レバーから手を離す
❻下に押し続ける
❼天板の高さが5㎜下がって戻る

〈エラー発生時からの初期化〉

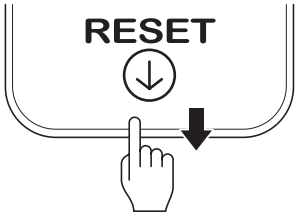
表示画面にエラーが表示されたときは、下記の要領で、コントロールボックスの初期化をしてください。

1.レバーを下に約5秒間長押ししてください。表示画面に「RESET」が表示されます。

2.レバーから手を離し、もう一度レバーを下に押し続けると、最低高さの数値が表示され、初期化されます。

操作は以上です。

❷「RESET」が表示される



❶下に約5秒間長押しする

❸レバーから手を離す
❹下に押し続ける
❺最低高さの数値が表示される

8 はさみ込み防止機能について

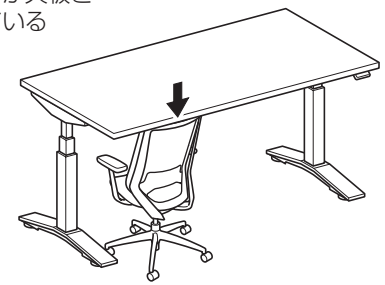
昇降操作中に天板が障害物に接触して、一定の負荷がかかるとはさみ込み防止機能が働いて、自動的に約5㎝戻ります。

昇降操作中にはさみ込み防止機能が働いたときは、天板に接触している障害物を取り除いてください。

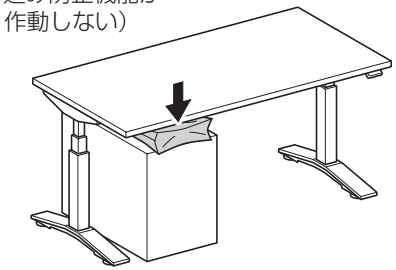
⚠警告

- **はさみ込み防止機能は、障害物や製品の破損を未然に防ぐ機能ですが、すべての条件下での作動を保障するものではありません。**
- **障害物が柔らかいもの（クッションやバッグなど）、障害物がたわんだとき、障害物の端だけが接触しているときは、はさみ込み防止機能が正しく作動しないことがありますので、直ぐに操作を中止してください。**
- **昇降操作をする前に、天板の下や周囲に接触するようなものがないか確認し、ある場合は取り除いてください。**
- **コントロールレバーを小刻みに操作して昇降させると障害物に接触して、天板が傾くおそれがあります。そのときは、㉒ページ「6.故障かな？と思ったら（不調診断）」の「●昇降操作中に、天板が傾いてしまった。」の欄を参照してください。**

イスの背が天板と接触している



柔らかいものに天板が接触している（はさみ込み防止機能が正しく作動しない）



9 移設するときの注意事項

⚠警告

- **製品を移設するときは、必ず電源プラグを外し、コード類を引っ掛けたり傷つけたりしないように注意して行ってください。**
  移設中の不意の作動や、コードの断線によるショート、感電のおそれがあります。
- **移設するときは、機器の配線やのせているもの、オプション類をすべて取り除いてから行ってください。**
  断線やのせているものの転倒・落下によるけが・破損のおそれがあります。

- **オプション類の取り付け・取り外しをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  作業中に誤ってボタンやレバーに触れると、天板が昇降して、ケガや破損のおそれがあります。
- **移設するときは、天板が、壁や隣り合うものとの間に25㎜以上の間隔が確保されていることを確認してください。**

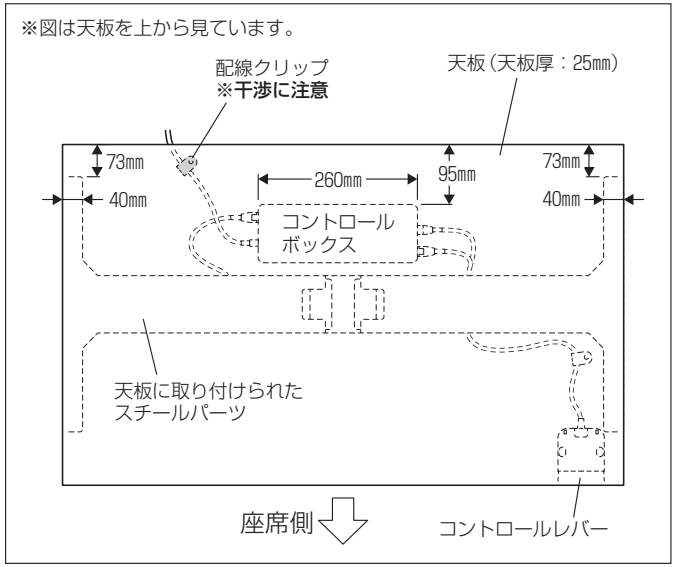
⚠注意

- **移設するときは、必ず二人以上で持ち上げて行ってください。**
  引きずりますと、床を傷つけたり、製品を破損するおそれがあります。
- **移設するときは、外装脚の樹脂スペーサーがずれたり外れたりしていないことを確認してください。**

10 クランプ取付条件

⚠注意

- **右図を参考に、天板裏側の取付可能範囲をご確認ください。**
- **天板裏の中央やや左側に配線クリップがあります。干渉しないようご注意ください。**



- **モニターアームの取り付けは、以下の条件を必ず守ってください。**
  - 中央　耐荷重：12kg
    デュアル可能。3モニター以上の取り付けは、安全面より推奨しておりません。
  - 左右　耐荷重：8kg
    複数台の取り付けは安全面より推奨しておりません。

  ※モニターは天板面上の範囲に入った位置でご使用ください。
  モニターが天板からはみ出た場合、転倒のおそれがあります。

5.お手入れのしかた

⚠注意

- **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  また、水洗いはしないでください。
  感電・ショート・故障の原因になります。
- **お手入れの際に、コントロールレバーやコントロールボックス、脚（モーター部）、配線コードに水をかけないでください。**
  感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- **長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、コードを結束バンドでたばねてください。**
  ショート・火災のおそれがあります。
- **暗い色の天板は使用状況や光の光沢により、指紋などの汚れが目立つ場合があります。**
  天板のお手入れは以下の〈日常のお手入れ〉をご覧ください。

〈日常のお手入れ〉

- 乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。
  1. うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
  2. 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
  3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。

汚れを落とすときの注意
水にぬれたままにしないでください。
また市販の各種クリーナーやワックス、シミ抜きなどを使用される際は、その使用方法や使用上の注意をご理解の上、お客様の判断においてご使用ください。
正しく使用されないと変色や変形など異常の原因になります。

■消毒のしかた

消毒のしかたと注意事項については、以下をご覧ください。

https://www.kokuyo-furniture.co.jp/manual/pdf/how_to_clean.pdf

6.故障かな?と思ったら（不調診断）

こんなときは →	こう処置してください
● 本体がグラグラ（ガタガタ）する。	レベル調整が正しく行われていないことが考えられます。アジャスターで調節してください。
	各部のボルトがゆるんでいることが考えられます。ゆるんでいる場合は、締め直してください。
● コントロールレバーの表示画面に表示されない（電源がつかない）。	電源プラグがコンセントに、確実に差し込まれていないことが考えられます。根元まで確実に差し込んでください。
	電源プラグをコンセントから抜いて10秒程おいてから差し直してください。
	コネクタがコントロールボックスに、確実に差し込まれていないことが考えられます。根元まで確実に差し込んでください。
	電源コードやコントロールボックスからのコード類が損傷（断線）していることが考えられます。損傷（断線）しているときは、コードの交換が必要です。お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
● 天板が動かない。 ● レバーを上に押しても天板が上昇しない。 ● レバーを下に押しても天板が下降しない。	「● コントロールレバーの表示画面に表示されない（電源がつかない）。」の処置を参照して、コード類を確認してください。
	天板がいっぱいまで上昇または下降していることが考えられます。 **〈上昇しているとき〉** レバーを下に押して天板が下降するか確認してください。下降すれば正常です。下降しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 **〈下降しているとき〉** レバーを上に押して天板が上昇するか確認してください。上昇すれば正常です。上昇しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
	連続で1分以上、天板を動かしていることが考えられます。約10分ほど操作を止めて、もう一度上昇しないときはレバーを上に、下降しないときはレバーを下に押してください。
	上昇しないときは、天板に60kgを超えて、ものをのせていることが考えられます。天板からものを下してください。
	天板やデスクトップパネルが何かものに当たっていることが考えられます。当たっているものを取り除くか、テーブルの位置を調整してください。
	昇降操作がロックされていることが考えられます。⑯ページ「ロックを解除する場合」を参照して、ロックを解除してください。
	最低高さ、最高高さが設定されていることが考えられます。⑭ページ「初期設定への戻しかた」を参照して、高さ設定を解除してください。

こんなときは →	こう処置してください
● コントロールレバーの操作と天板の上下昇降が逆の動きをする。	反転動作が約5cmの場合、はさみ込み防止機能が作動している可能性がありますので、「● 障害物に接触していないのにはさみ込み防止機能が作動してしまう。」の処置をご確認ください。
● 障害物に接触していないのにはさみ込み防止機能が作動してしまう。	デスク周辺に接触可能の物がないか、またケーブル・ディスプレイ等が天板・脚に接触しないよう固定されているかを今一度確認してください。
	脚が垂直でないため、昇降部の外側と内側が接触して障害物として検知している可能性があります。天板・床に対し垂直に取り付けられていることを確認してください。
	手動操作時のみ発生する場合、コントロールボックスがゆるみ・ガタツキなく、適切に固定されているか確認してください。また、レバースイッチへの押す力を軽くすると改善されるか確認してください。
● 上昇操作中に障害物に接触したまま停止してしまった。	コントロールレバーのレバーを下に押して天板を下げ、障害物を取り除いてください。
	レバーを下に押しても天板が動かないときは、レバーを下に小刻みに押して天板を下げ、障害物を取り除いてください。
● 下降操作中に障害物（※）に接触して、障害物が詰まってしまった。	コントロールレバーのレバーを上に押して天板を上げ、詰まった障害物を取り除いてください。
	レバーを上に押しても天板が動かない、またはすぐに下降に転じるときは、レバーを上に小刻みに押して天板を上げ、詰まった障害物を取り除いてください。
● コントロールレバーを2回押してもメモリー設定した高さに昇降しない。	低消費電力モード中の場合は解除操作が加わるため、2回でなく全部で3回押してください。
	2回押す操作の有効な間隔は0.5秒以内のため、0.5秒以内で押してください。
● 昇降操作中に、天板が傾いてしまった。	小刻みに天板を下降させたときに、障害物に当たったことが考えられます。または、コネクタがコントロールボックスに確実に差し込まれていないことが考えられます。根元まで確実に差し込んでください。 次に下記の要領で初期化を行ってください。 1.天板の下に、下降時に接触するおそれがあるものがあれば、取り除いてください。 2.⑰ページ「天板の高さの数値の初期化」を行って、高さを初期化してください。

（※）天板下にあるイスやワゴン、脚に取り付けた配線用のマグネットなど

こんなときは →	こう処置してください
●コントロールレバーが振動している。	リマインダー機能が作動しています。 リマインダー機能を使用しない場合は、⑫ページ「5リマインダー機能の使いかた」を参照して、リマインダー機能を解除してください。 リマインダー時に振動させたくない場合は、⑯ページ「4.リマインダー時の振動パターンの変更のしかた」を参照して、振動をオフに設定してください。
●コントロールレバーの表示画面に「Error:01」、もしくは「Error:02」が表示された。	M1接続口側支柱、またはM2接続口側支柱の過電流保護のエラーコードです。 いずれかの支柱に、干渉する障害物があるか、または過負荷があるかを確認し、⑰ページ「エラー発生時からの初期化」を行って初期化してください。
●コントロールレバーの表示画面に「Error:07」、もしくは「Error:08」が表示された。	M1接続口、またはM2接続口の異常のエラーコードです。 すべてのコネクタが確実に接続されているか確認した後、⑰ページ「エラー発生時からの初期化」を行って初期化してください。
●コントロールレバーの表示画面に「Hot:01」が表示された。	過熱保護のエラーコードです。 約20分間昇降操作を行わずに放置してください。
●初期化が完了できない。	電源コンセント抜いて3分間おいてから差し直し、初期化できるかお試しください。
	コントロールレバーのプラグを抜いて1分間おいてから差し直し、初期化できるかお試しください。

※以上の処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

7.部品の交換について

部品の交換をご希望の場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室までお問い合わせください。

⚠注意

お客様での交換作業はしないでください。

製品の故障・破損の原因になります。

8.仕様

品　名			電動昇降デスク　スタンジットW				
品　番：DSW-TK			1006SA1	1206SA1	1207SA1	1407SA1	1607SA1
外寸法(㎜)	幅		950	1150		1350	1550
	奥行き		600		700		
	高さ		655～1265				
	天板厚		25				
素材	天板	表面材	メラミン化粧板				
		エッジ	樹脂押出材(ABS)				
		芯材	パーティクルボード				
	脚	上ステー	スチール(焼付塗装)				
		支柱	スチール(焼付塗装)				
		脚ベース	スチール(焼付塗装)				
		アジャスター	樹脂(ABS)				
	ビーム		スチール(焼付塗装)				
	配線クリップ		樹脂(ナイロン)				
	樹脂スペーサー		樹脂(PP)				
耐荷重	天板		均等荷重588N(約60kgf)				
アジャスター床傾斜調整範囲(㎜)			8				

電気部

定格電圧	AC100V
定格消費電力	250W
定格周波数	50/60Hz

⚠注意

耐荷重(上表の数値)を超えて、ものを置かないで(入れないで)ください。

- 故障や変形の原因になります。
- 落下によるけがや破損の原因になります。

【家庭用品品質表示法に基づく表示】

外形寸法(㎜)

品　名	電動昇降デスク　スタンジットW				
品　番：DSW-TK	1006SA1	1206SA1	1207SA1	1407SA1	1607SA1
幅	950	1150		1350	1550
奥行き	600		700		
高さ	655 ～ 1265				

甲板の表面材　合成樹脂化粧パーティクルボード(メラミン樹脂)

表面加工　脚部、ビーム部：ポリエステル塗装

取扱い上の注意　直射日光および熱をさけてください。
加熱した鍋、湯沸しなどを直接置かないでください。

コクヨ株式会社　大阪市東成区大今里南6丁目1番1号

9.組み立てかた

⚠注意

製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。

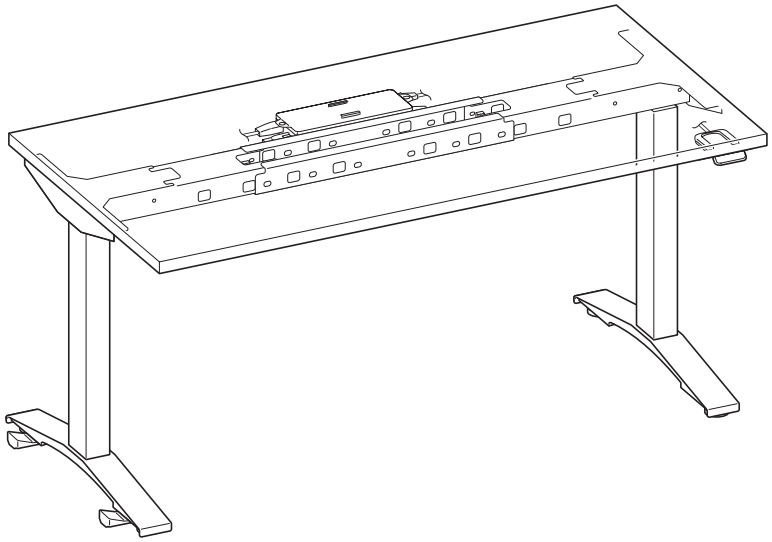
誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。

組み立て
かたの
動画はこちら

※この組立説明は、サイズ1400で行っています。
　その他のサイズは形状などは異なりますが、組立方法は同じです。

1 完成図

図はサイズ1400です。



2 ご用意していただくもの

組み立てる前に、下図のものをご用意ください。

ご用意していただくもの
L型六角レンチ（対辺5㎜）※製品に同梱しています。
⊕ドライバー（NO.2）
手袋（組立時のけが等を防ぐため、着用してください。）
きれいな毛布やクッション材

3 構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

梱包品番	部品の種類	個数
DSWT-K□□□□N1	天板	1
DSWH-TNA□	上ステー	2
	支柱	2
	脚ベース	2
	ビーム	1
	コントロールボックス	1
	コントロールレバー	1
	モーターコード	2
	電源コード	1
	六角穴付キャップボルト（平座金付）M6×20	24
	六角穴付キャップボルト（平座金付・メック付）M6×20	8
	十字穴付トラスタッピンネジ φ4×20	6
	配線クリップ	2
	樹脂スペーサー	2
	L型六角レンチ（対辺5㎜）	1

使用するボルトの詳細

六角穴付キャップボルト
（平座金付）M6×20
（24個）

メック加工
（緑色）

六角穴付キャップボルト
（平座金付・メック付）
M6×20（8個）

※メック付ボルトは、組み立て後の取り外しはできません。

十字穴付トラスタッピンネジ
Φ4×20（6個）

⚠注意

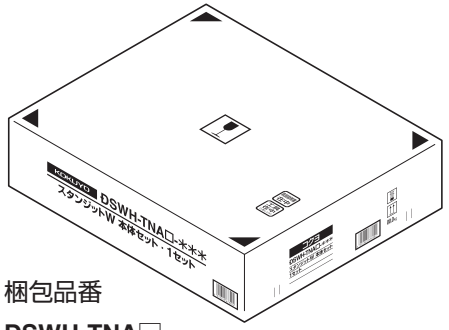
ボルトを斜めの状態で締めるとナットが変形するおそれがあります。組み立ての際には取付穴に垂直であることをご確認の上、締めてください。

引っ掛かりを感じた場合は無理に締め込まず、再度垂直であることをご確認の上、締め直してください。

⚠注意

1人で組み立てを行う場合、または十分な作業スペースが確保できない場合は、梱包品番DSWH-TNA□の梱包材を解体しないでください。

組み立て時に使用します。



梱包品番
DSWH-TNA□

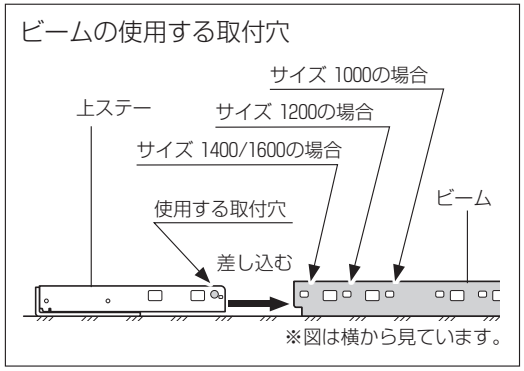
2人以上で組み立てを行う場合

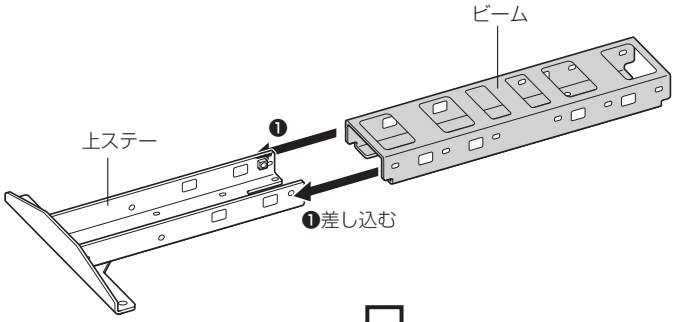
1人で組み立てを行う場合や、十分な作業スペースが確保できない場合は、
㉝ページ「1人で組み立てを行う場合」をご参照ください。

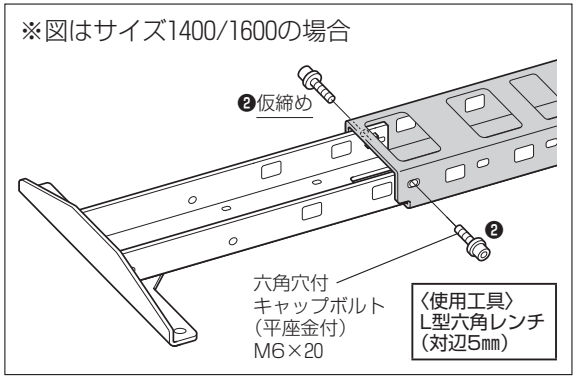
1 上ステーとビームの組み立て

1.ビームを外装脚の上ステーに差し込み、上ステーとビームの取付穴を合わせてボルトで仮締めしてください。

〈ご注意〉
ビームの取付穴は、サイズによって異なります。右図を参照して、使用する取付穴を確認してください。

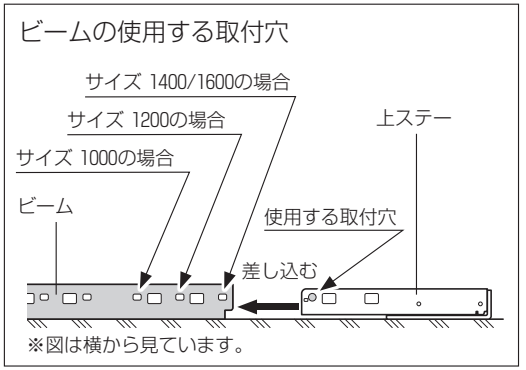


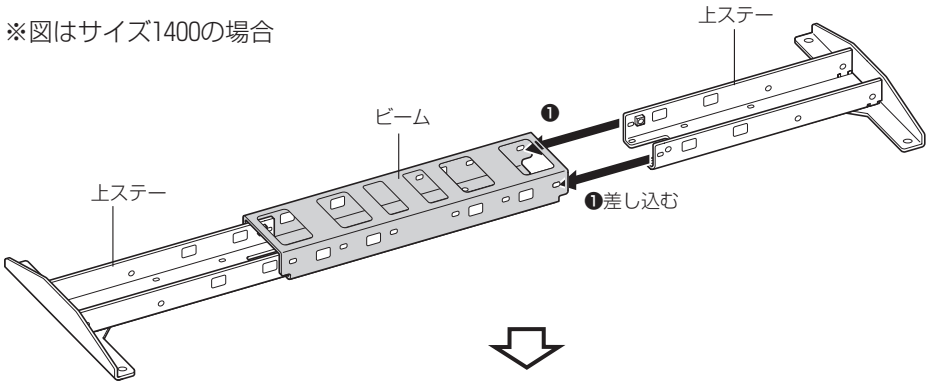


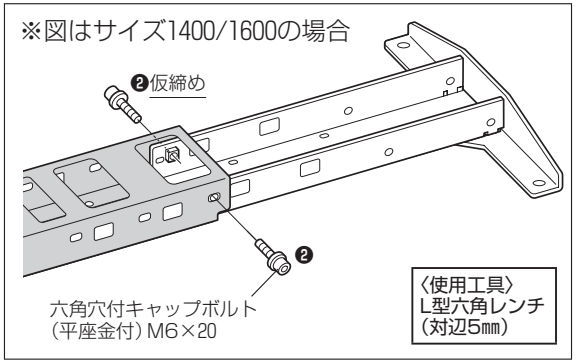


2.もう一方の上ステーをビームに差し込み、上ステーとビームの取付穴を合わせてボルトで仮締めしてください。

〈ご注意〉
ビームの取付穴は、サイズによって異なります。右図を参照して、使用する取付穴を確認してください。







2 天板と外装脚の組み立て

1.天板を裏返しに置いてください。
このとき、天板を傷つけないように、下にクッション材などを敷いてください。

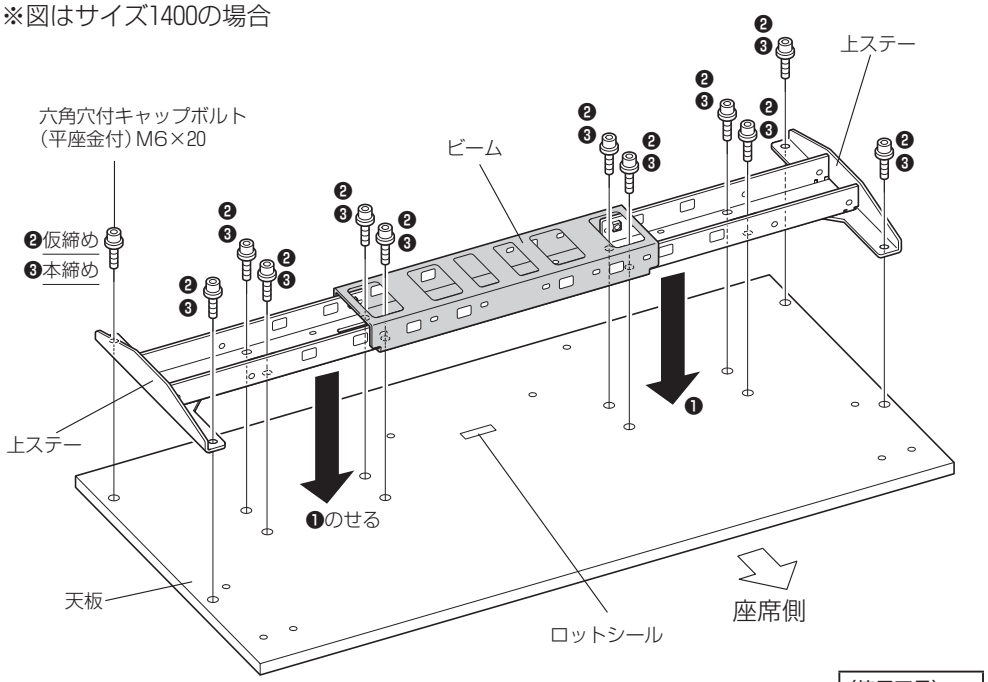
2.図のように、1で組み立てた上ステーとビームを天板にのせて、穴位置を合わせてください。

〈取付穴について〉

使用する上ステーとビームの取付穴は、サイズによって異なります。次ページの図を参照して、使用する取付穴を確認してください。

3.上ステー・ビームと天板を、ボルトで仮締めした後、本締めしてください。

※図はサイズ1400の場合



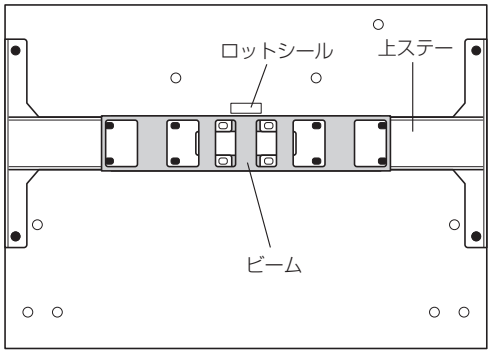
〈使用工具〉
L型六角レンチ
(対辺5㎜)

上ステーとビーム、天板の取付穴

●…使用する取付穴

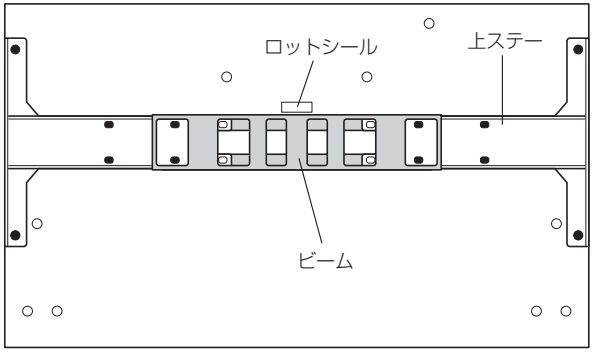
※図は天板を裏側から見ています。

サイズ1000の場合



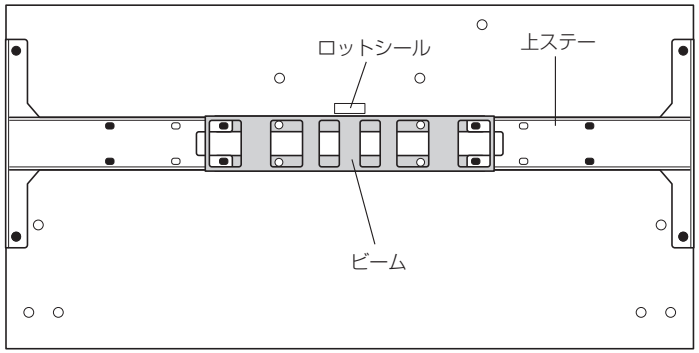
前(座席側)

サイズ1200の場合



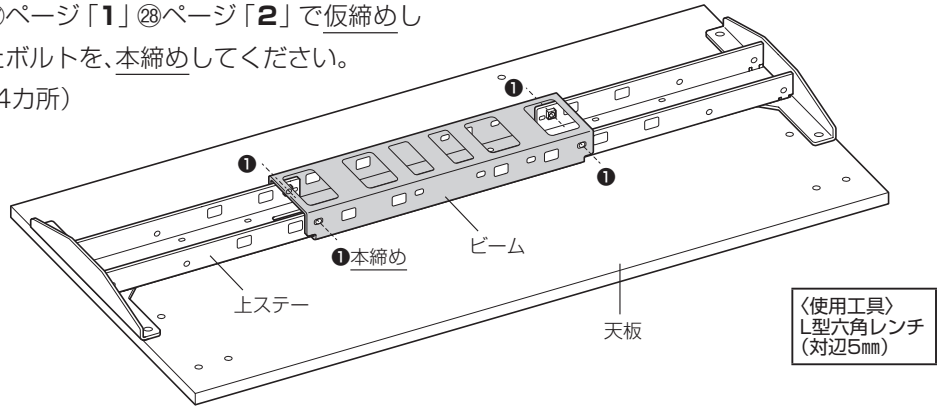
前(座席側)

サイズ
1400/1600の場合



前(座席側)

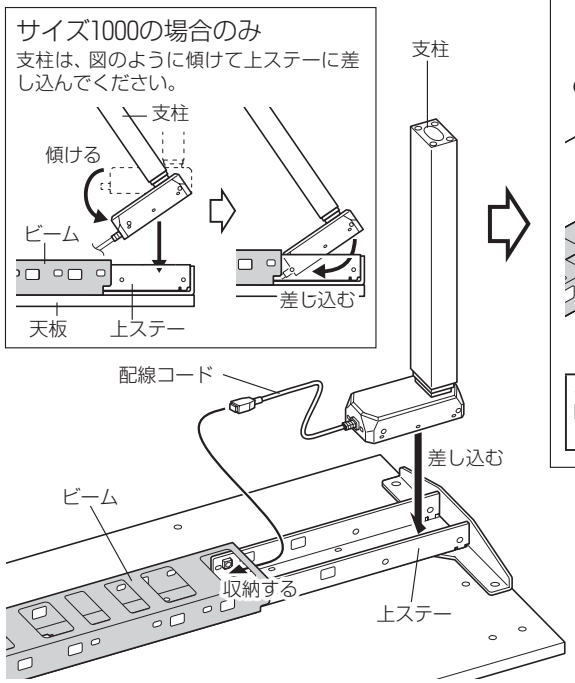
4.㉗ページ「**1**」㉘ページ「**2**」で仮締めしたボルトを、本締めしてください。（4カ所）



5.上ステーに支柱を図のように差し込んでください。

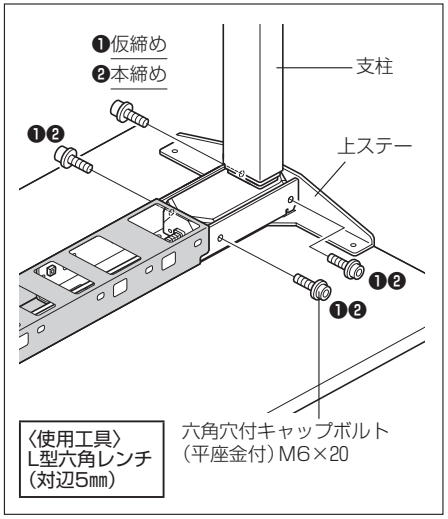
〈ご注意〉

このとき、支柱の配線コードはビーム内に収納してください。



6.上ステーと支柱をボルトで仮締めした後、本締めしてください。

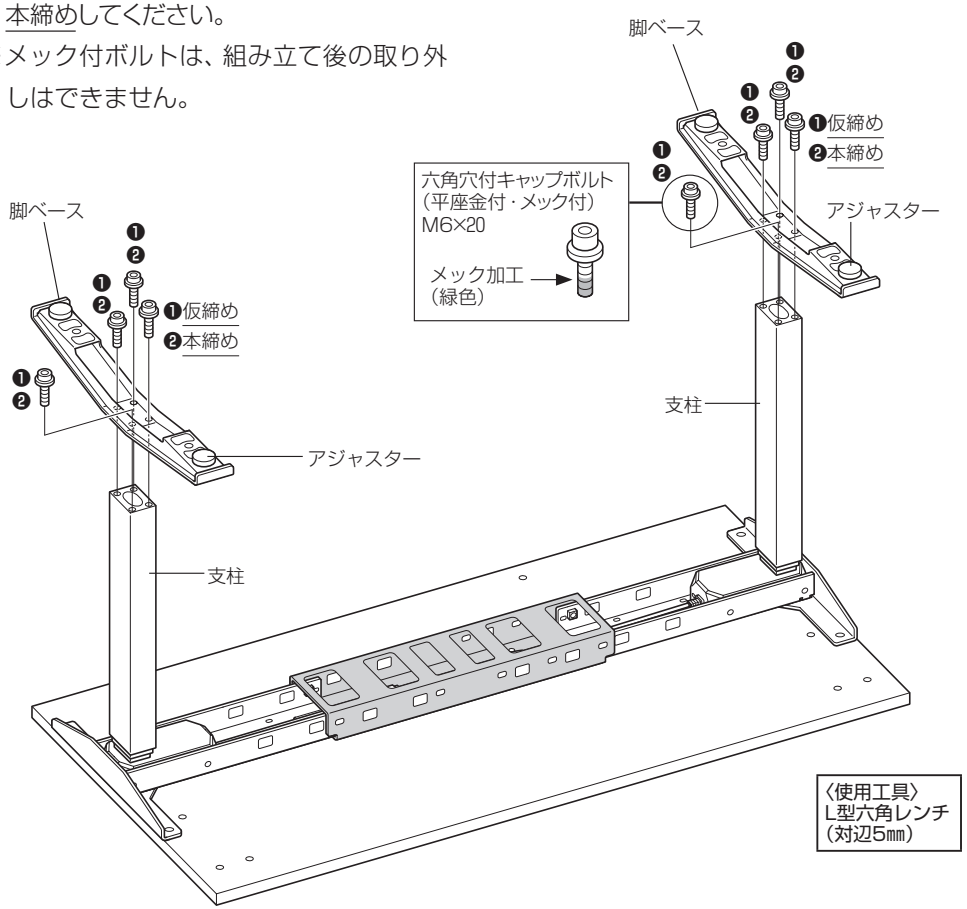
※反対側の支柱も同じ要領で取り付けてください。



7. 脚ベースのアジャスターを、いっぱいまでねじ込んでください。

8.支柱に脚ベースをボルトで仮締めした後、本締めしてください。

※メック付ボルトは、組み立て後の取り外しはできません。

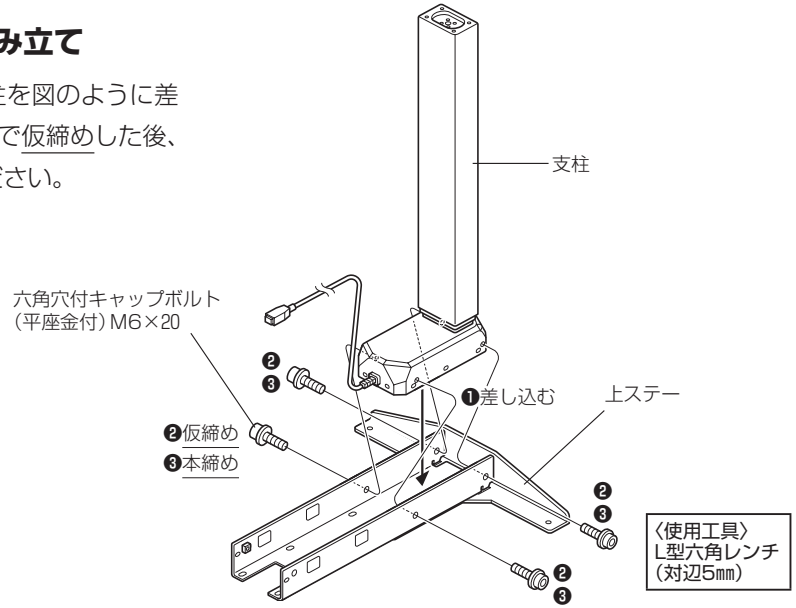


※作業終了後、㊵ページ「1コントロールレバーの取り付け」の工程に進んでください。

1人で組み立てを行う場合

1 外装脚の組み立て

1.上ステーに支柱を図のように差し込み、ボルトで仮締めした後、本締めしてください。

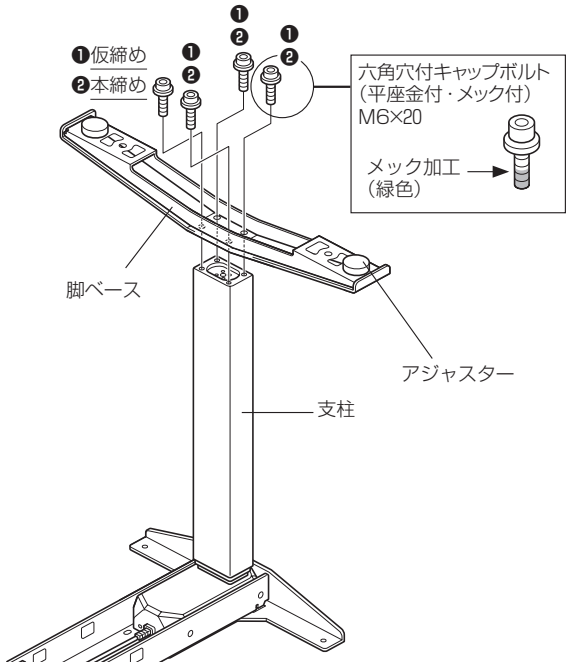


2.脚ベースのアジャスターを、いっぱいまでねじ込んでください。

3.支柱に脚ベースをボルトで仮締めした後、本締めしてください。

※2セット組み立ててください。

※メック付ボルトは、組み立て後の取り外しはできません。

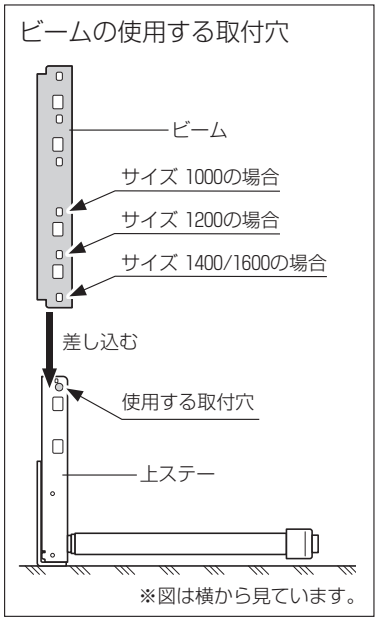


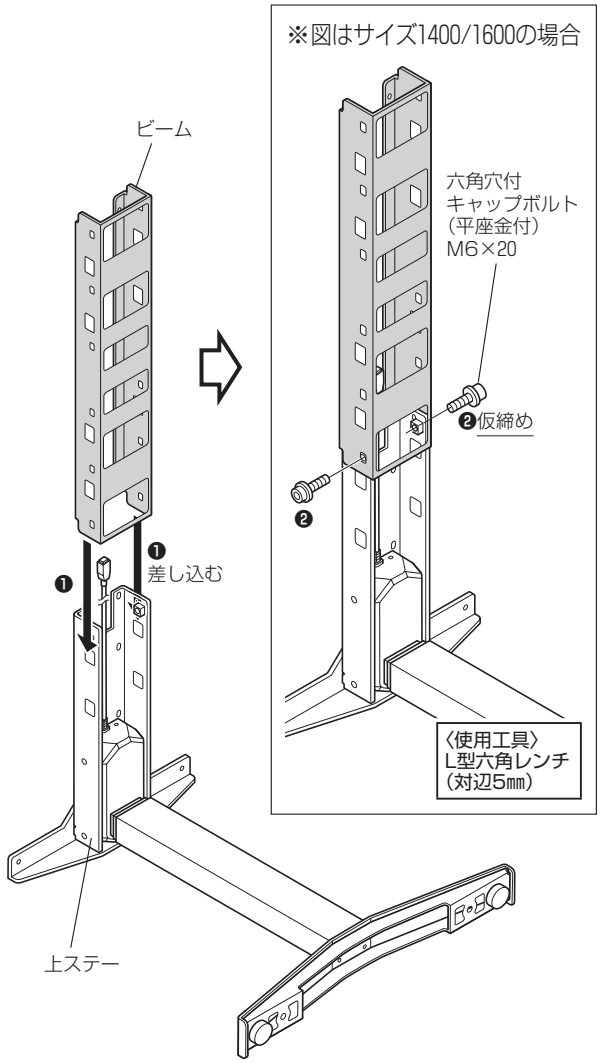
2 外装脚とビームの組み立て

1.外装脚を図のように置いて、ビームを外装脚の上ステーに差し込み、上ステーとビームの取付穴を合わせてボルトで仮締めしてください。

〈ご注意〉

ビームの取付穴は、サイズによって異なります。下図を参照して、使用する取付穴を確認してください。

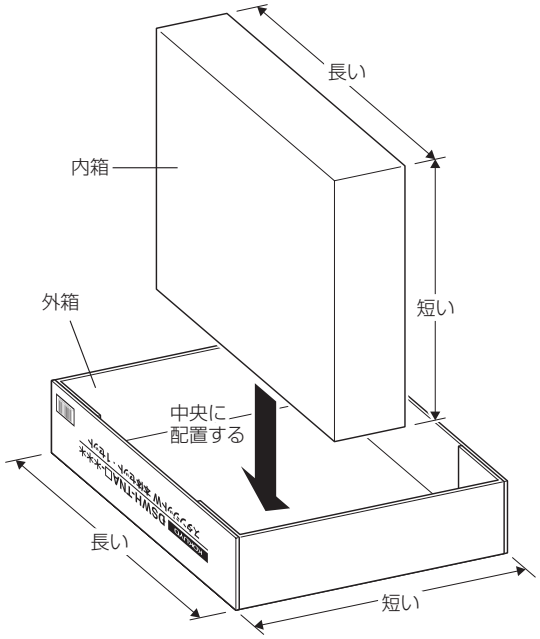




2.外装脚が入っている梱包材に収納されているすべての部品を取り出し、外箱に内箱を図のように立てて配置してください。

〈ご注意〉

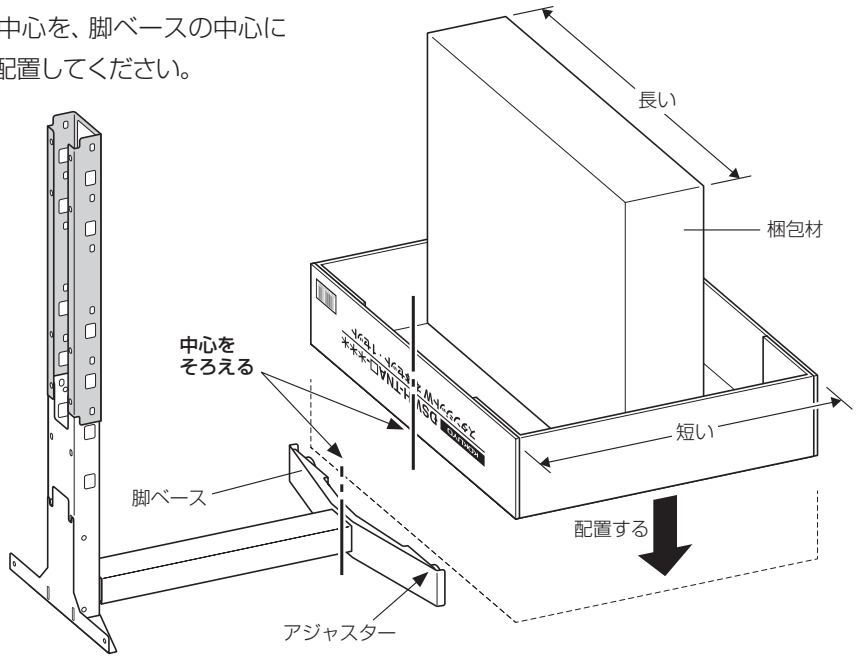
内箱は、外箱の中央に配置してください。



3.「**1**」で組み立てた外装脚の脚ベースのアジャスター側に、梱包材を図のように配置してください。

〈ご注意〉

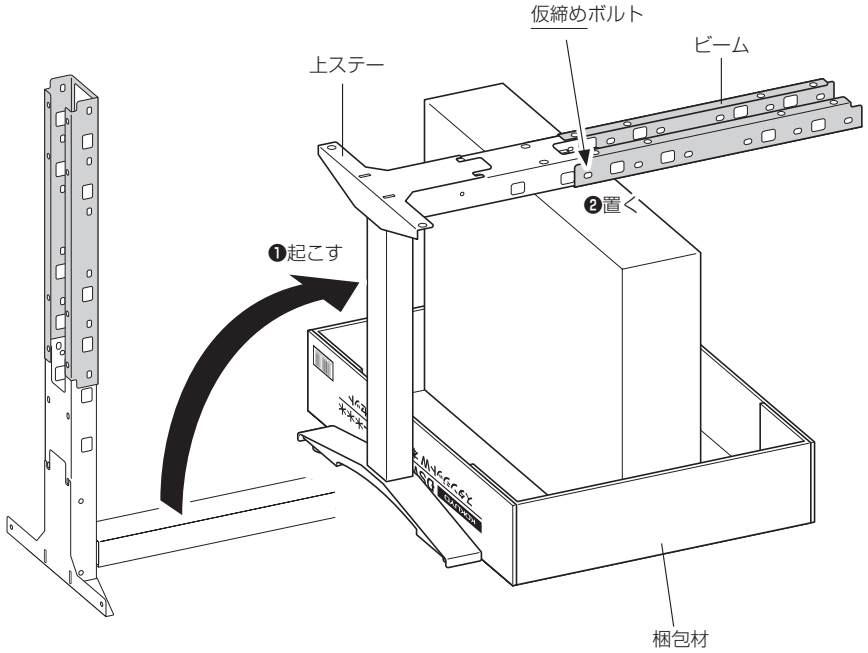
- 梱包材は、長手方向を外装脚側に向けてください。
- 梱包材の中心を、脚ベースの中心に合わせて配置してください。



4.外装脚とビームを起こして、ビームと上ステーを梱包材の上に起き、外装脚とビームを自立させてください。

〈ご注意〉

梱包材が、外装脚とビームの仮締めボルトの下あたりに配置されていない場合は、梱包材の位置を調整してください。

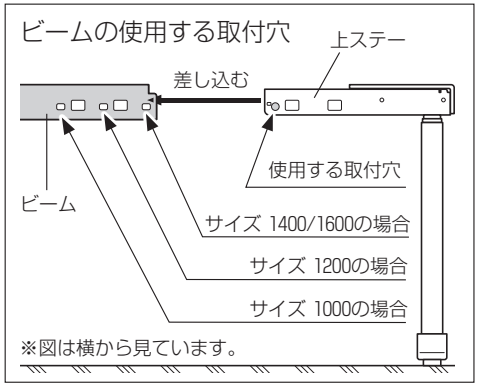


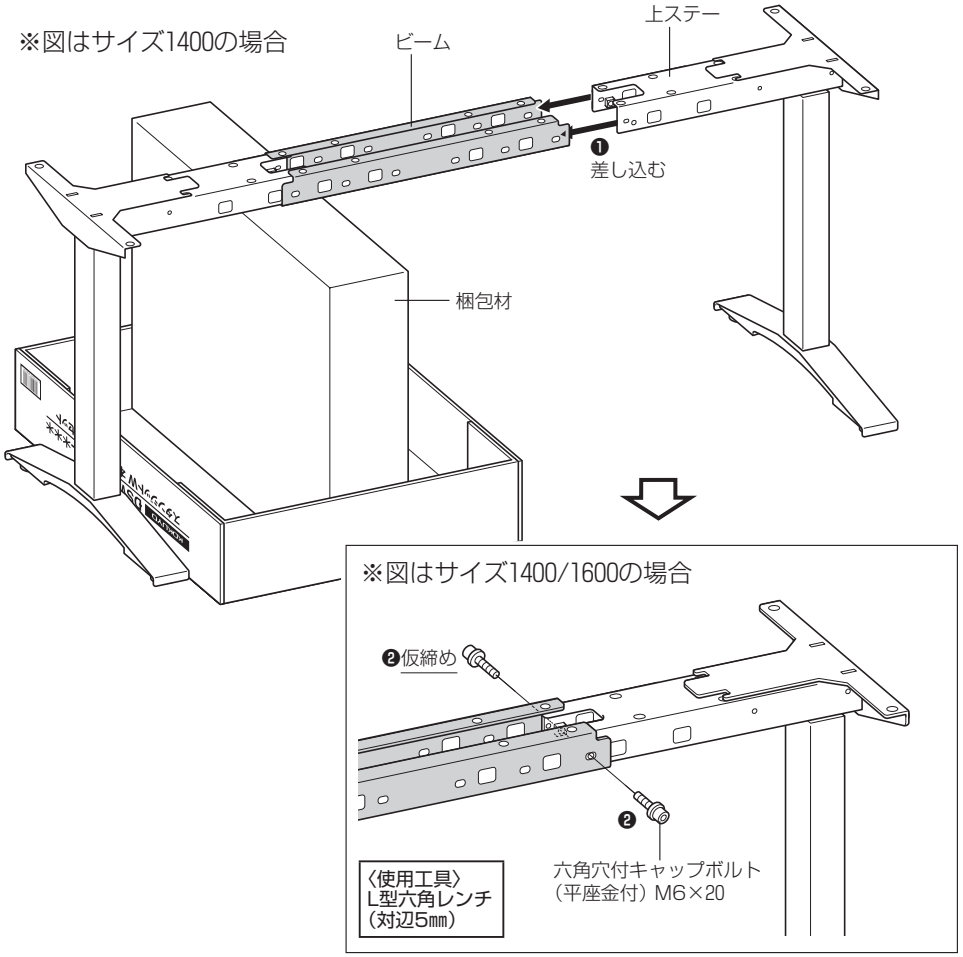
※テーブルを壁付け、または隣り合わせてレイアウトする場合は、「**5**」の工程の前に、付属の樹脂スペーサーをもう一方の外装脚の脚ベースに取り付けてください。
取り付けかたは㊽ページをご参照ください。

5.もう一方の外装脚の上ステーをビームに差し込み、上ステーとビームの取付穴を合わせてボルトで仮締めしてください。

〈ご注意〉

ビームの取付穴は、サイズによって異なります。右図を参照して、使用する取付穴を確認してください。





3 天板と外装脚の組み立て

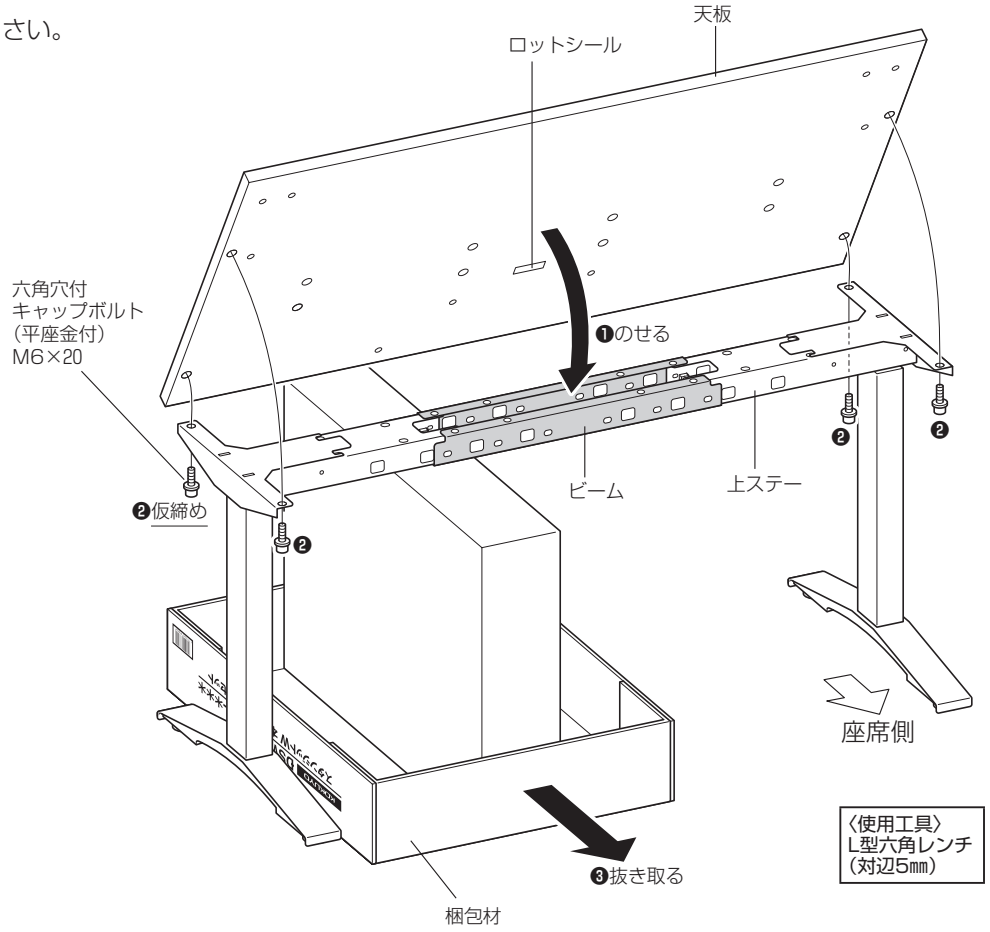
1.脚に天板をのせて、穴位置を合わせてください。

〈取付穴について〉

使用する上ステーとビームの取付穴は、サイズによって異なります。㉚ページの図を参照して、使用する取付穴を確認してください。

2.図の位置の上ステーと天板を、ボルトで仮締めしてください。（4カ所）

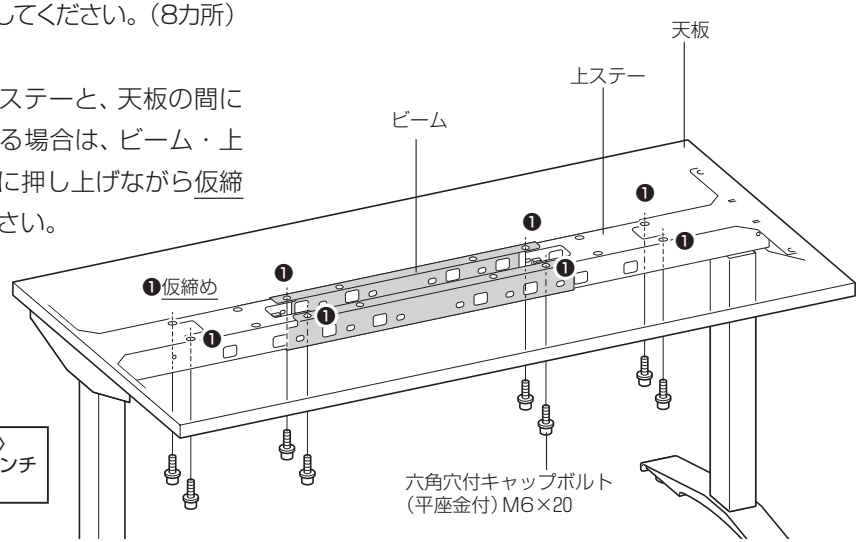
3.梱包材を抜き取ってください。



4.上ステー･ビームと天板を､ボルトで仮締めしてください。(8カ所)

〈ご注意〉

ビーム・上ステーと、天板の間にすき間がある場合は、ビーム・上ステーを上に押し上げながら仮締めしてください。



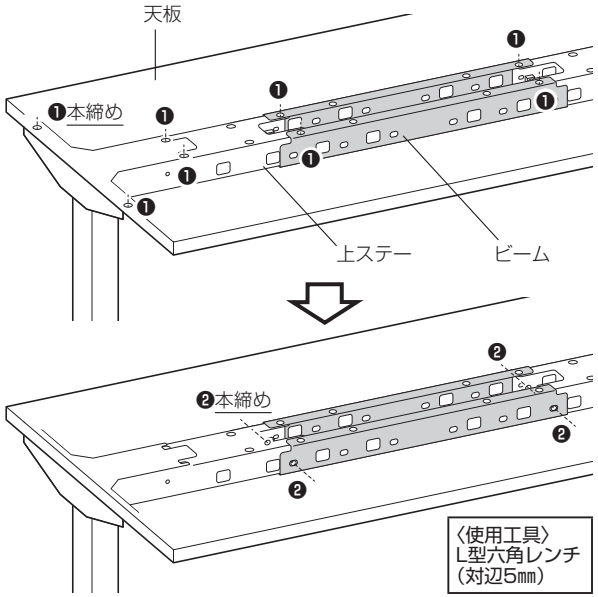
4 レベル調整とボルトの本締め

1.組み立てた本体のレベルを､外装脚のアジャスターで調整してください。(レベルの調整のしかたは⑧ページ2を参照してください。)

2.本締めを以下の手順で行ってください。

❶天板と上ステー・ビームの仮締めボルトを本締めしてください。(12カ所)

❷上ステーとビームの仮締めボルトを本締めしてください。(4カ所)



※作業終了後､㊵ページ「1コントロールレバーの取り付け」の工程に進んでください。

配線のしかた
(2人以上で組み立てを行う場合･1人で組み立てを行う場合 共通)

※図は天板を裏返して床に置いた状態(2人以上で組み立てを行う場合)で説明していますが、机を起こした状態(1人で組み立てを行う場合)も､要領は同じです。

⚠注意

電源コードは、コントロールボックス・コントロールパネル・モーターコードの配線を終えるまで､絶対に電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

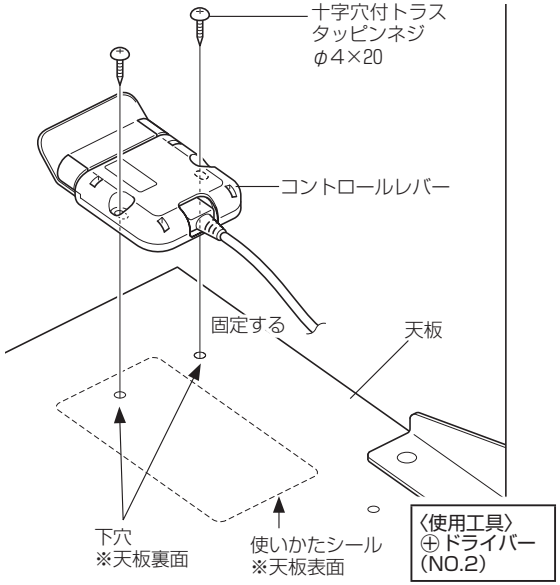
1 コントロールレバーの取り付け

コントロールレバーをボルトで固定してください。

※説明図のコントロールレバーは右使い勝手です。(下穴は天板表面の使いかたシールの裏にあります。)
また、コントロールレバーは左側に取り付けて、左使い勝手にすることもできます。

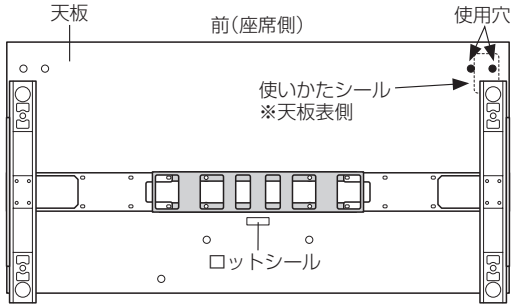
〈ご注意〉

取り付け時、タッピンネジを締め付けすぎないようにご注意ください。
レバーの樹脂が割れるおそれがあります。



天板の使用する下穴(推奨)

※図は天板を裏側から見ています。



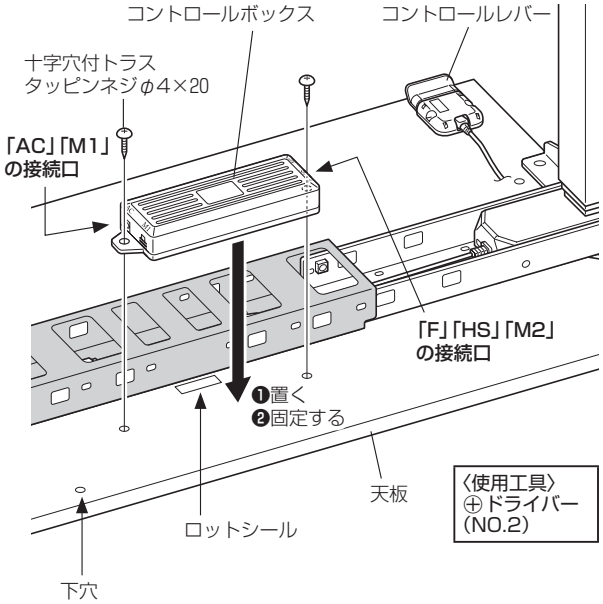
2 コントロールボックスの取り付け

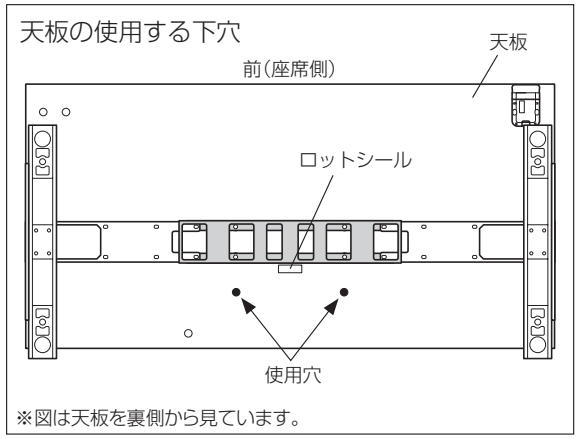
1.コントロールボックスを天板に置いてください。このとき、コントロールボックスの「AC」「M1」の接続口は、下穴がある方に向くようにしてください。（右下図参照）

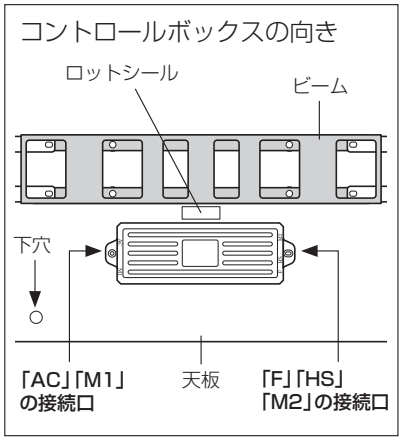
2.コントロールボックスを天板に、ボルトで固定してください。

〈ご注意〉

- 取り付け時、タッピンネジを締め付けすぎないようにご注意ください。
  樹脂が割れるおそれがあります。
- 取り付け後、コントロールボックスにガタツキがないことを確認してください。

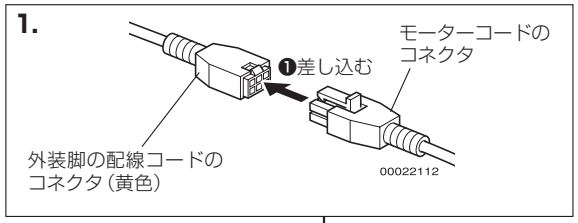


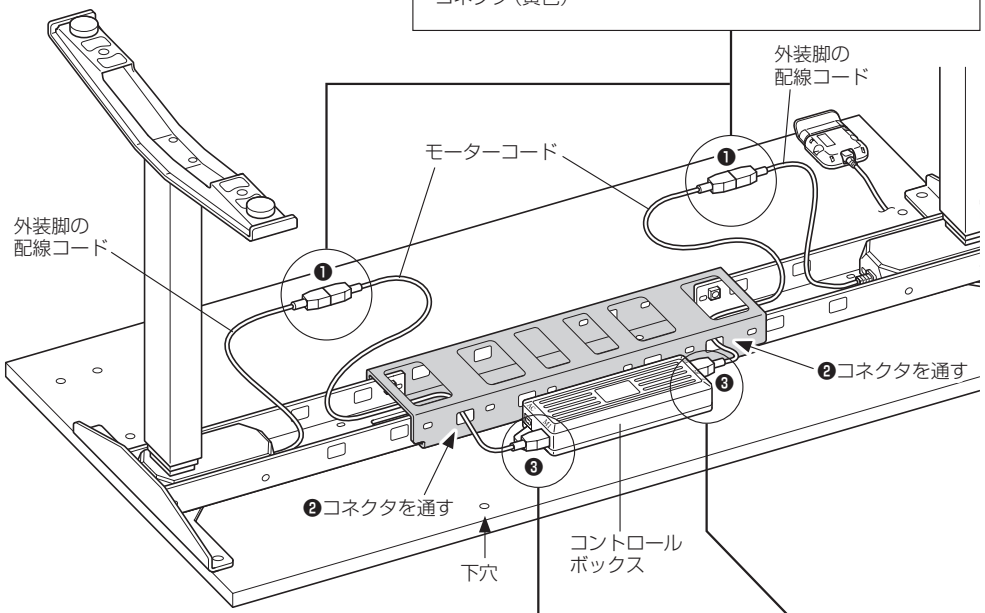




3 配線コードの接続

1.外装脚の配線コードのコネクタ（黄色）に、モーターコードのコネクタを接続してください。



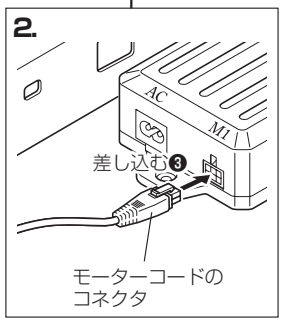


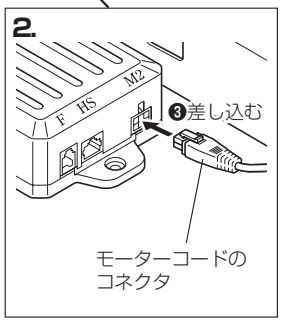
2.モーターコードをビームの中に通して、図の配線穴からもう一方のコネクタを通し、コントロールボックスの接続口に奥までしっかり差し込んでください。

〈ご注意〉

コネクタの向きに注意してください。

※反対側の脚も同じ要領で行ってください。



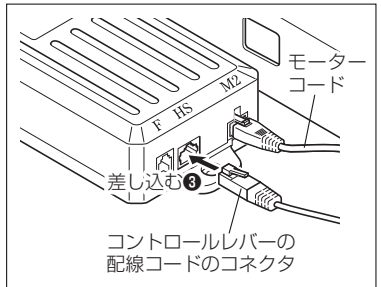


使用する接続口

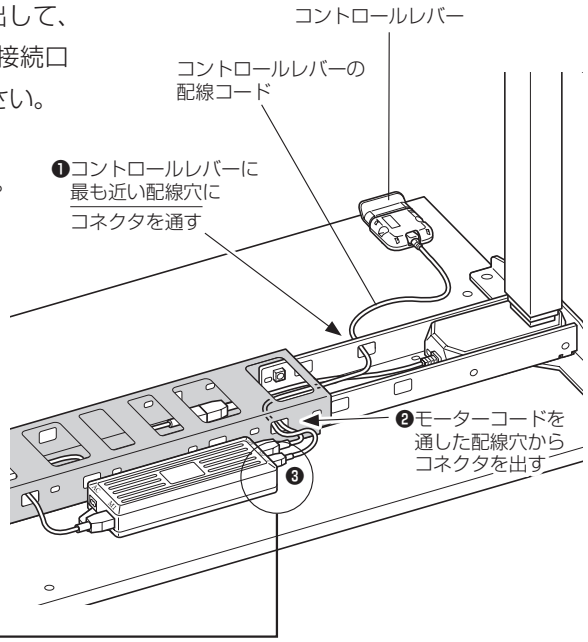
- コントロールレバー側のモーターコード
  ……「M2」接続口
- コントロールレバー反対側のモーターコード
  ……「M1」接続口

3.コントロールレバーの配線コードのコネクタを、図のようにコントロールレバーに最も近い配線穴に通し、モーターコードを通した配線穴からコネクタを出して、コントロールボックスの「HS」の接続口に奥までしっかり差し込んでください。

〈ご注意〉
コネクタの向きに注意してください。



※「F」の接続口は使用しないでください。

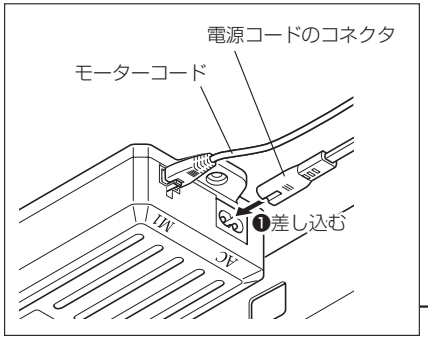


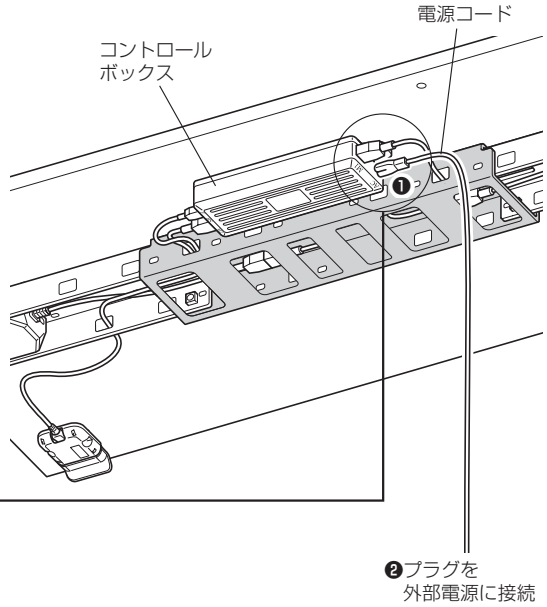
4.モーターコード・電源コードの余長コードをビーム内に収納してください。

5.2人以上で組み立てを行う場合のみテーブルを起こしてください。

※テーブルを壁付け、または隣り合わせてレイアウトする場合は、テーブルを起こす前に付属の樹脂スペーサーを脚ベースに取り付けてください。
取り付けかたは㊽ページをご参照ください。

6.電源コードのコネクタを、コントロールボックスの「AC」の接続口に奥までしっかり差し込んでください。



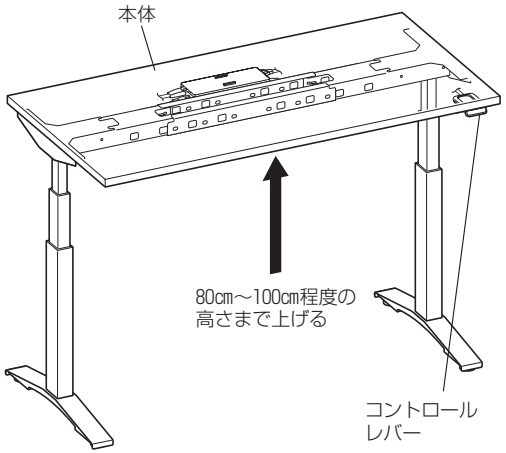


7.電源コードのプラグを外部電源に接続し、コントロールボックスの初期化のため10秒以上時間をあけてください。

8.⑰ページ「天板の高さの数値の初期化」の操作を行い、表示画面に「66」が表示したことを確認してください。

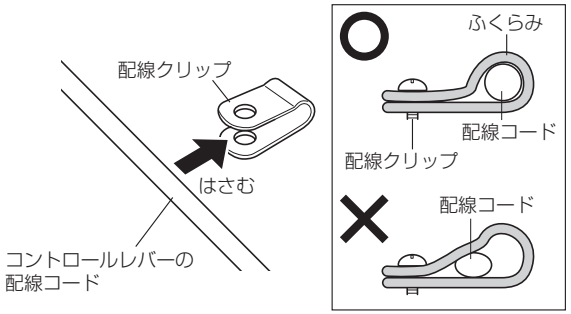
9.コントロールレバーを操作して、本体を80cm～100cm程度の高さまで上げてください。

10.電源コードのプラグを、電源コンセントから抜いてください。



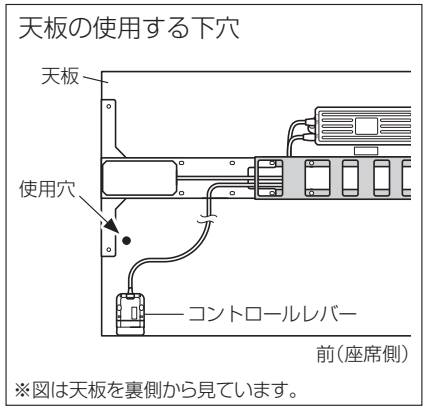
4 配線クリップの取り付け

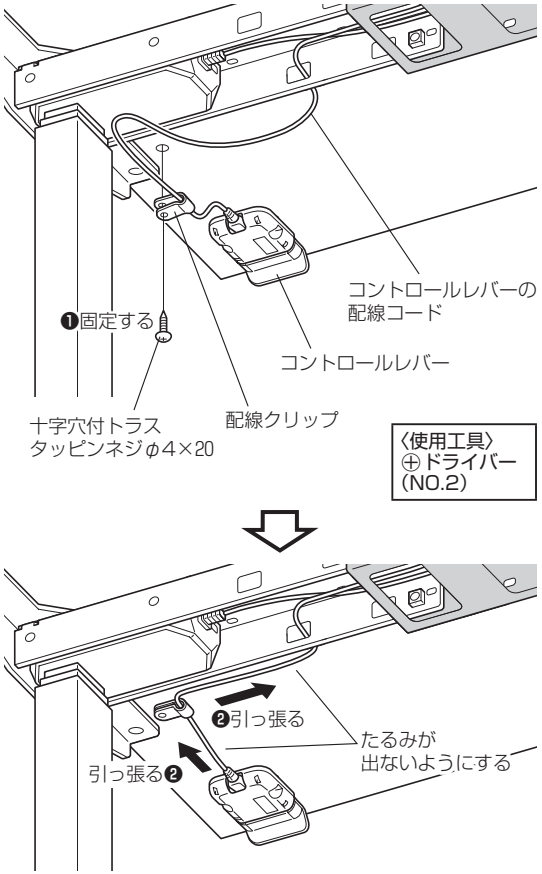
1.コントロールレバーの配線コードを配線クリップではさんでください。
※このとき、コードは配線クリップの丸いふくらみにはさんでください。



2.配線コードを通した配線クリップを天板にタッピンネジで固定してください。

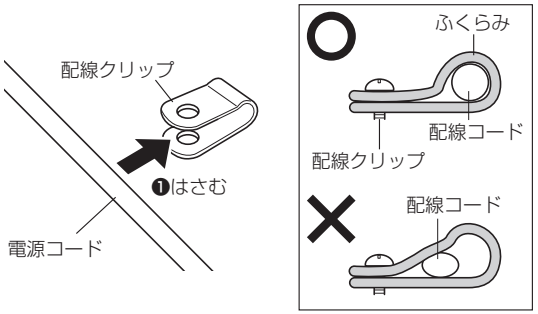
〈ご注意〉
配線クリップは、ふくらみがある方を内側に向けてください。
※固定後、たるみが出ないように、配線コードを引っ張ってください。





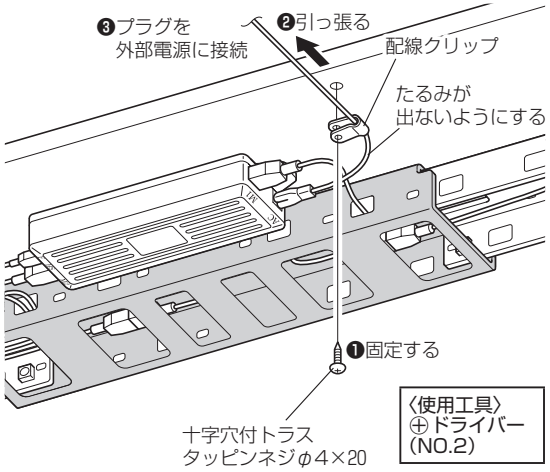
3.余長コードをビーム内に収納してください。

4.電源コードを配線クリップではさんでください。
※このとき、コードは配線クリップの丸いふくらみにはさんでください。



5.電源コードを通した配線クリップを天板にタッピンネジで固定してください。
※固定後、たるみが出ないように、配線コードを引っ張ってください。

6.電源コードのプラグを外部電源に接続してください。



以上で、組み立ては完了です。ガタツキがないか確認してください。

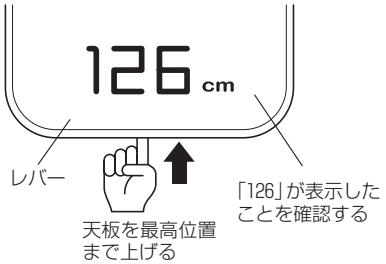
※ ガタツキがある場合は、⑧ページ「2レベル調整のしかた」を参照し、アジャスター調節を行なってください。

※作業終了後、㊼ページ「10.組立後の作動確認」を行ってください。

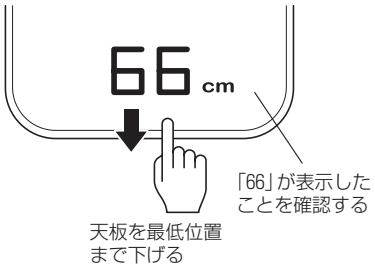
10.組立後の作動確認

1.レバーを上に押し続けて天板を最高位置まで上げ、表示画面に「126」が表示したことを確認してください。

※このとき、脚の昇降摺動面に潤滑油が付着している場合は、潤滑油を拭き取ってください。（洗剤を使わずから拭きしてください。）



2.レバーを押し続けて天板を最低位置まで下げ、表示画面に「66」が表示したことを確認してください。



以上で作動確認は終了です。

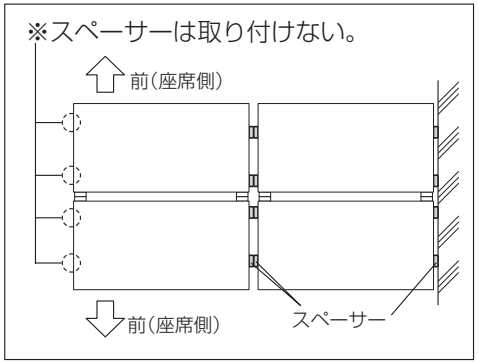
11.レイアウト時の注意事項

1 樹脂スペーサーの取り付け

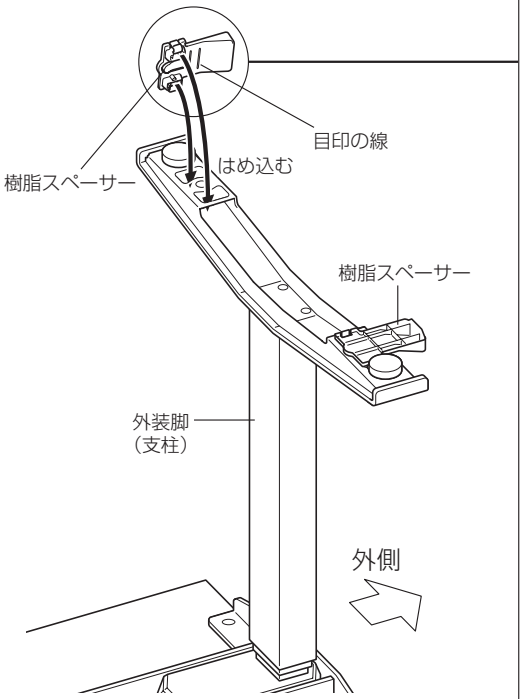
テーブルを壁付け、または隣り合わせてレイアウトする場合は、スペースを確保するために付属の樹脂スペーサーを取り付けてください。

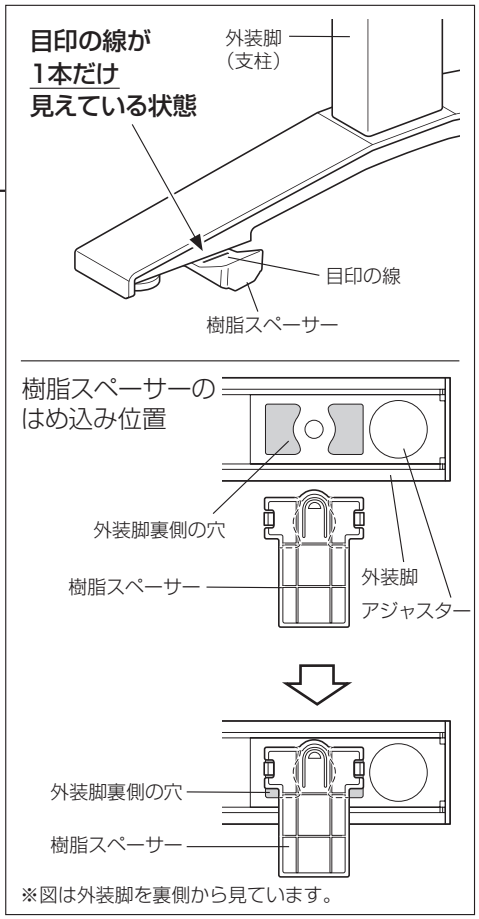
〈ご注意〉

右図のように隣り合うテーブルや壁がない場合は、つまずいて転倒する原因になるので、樹脂スペーサーを取り付けないでください。



1.樹脂スペーサー上面の目印の線に合わせて、樹脂スペーサーを外装脚裏側の穴にはめ込んでください。



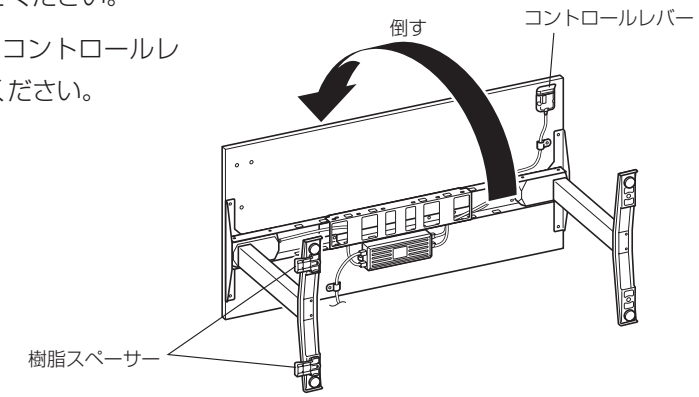


2.取り付け後、樹脂スペーサーが外れないことを確認してください。

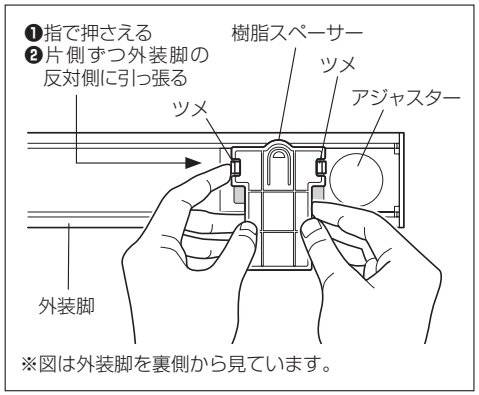
2 樹脂スペーサーの外しかた

1. コントロールレバーを操作して、テーブルを最低高さまで下げてください。

2. 図のように、テーブルをコントロールレバーと反対側に倒してください。



3. 図のように、樹脂スペーサーの両側にあるツメを指で押さえたまま、片側ずつ外装脚の反対側に引っ張って外してください。



4. テーブルを起こしてください。